

Unica JourneyV12.1.0ユーザーズガイド



Contents

Chapter 1. 紹介のUnica Journey	5
特徴Unica Journey.....	5
利点のUnica Journey.....	5
Chapter 2. を始めるUnica Journey	7
Chapter 3. エントリーソース	10
エントリーソースの作成する.....	10
エントリーソース一覧画面での操作する.....	11
エントリーソースにリストされた列を追加または削除する.....	11
エントリーソースの変更する.....	12
エントリーソースを別のフォルダに移動する.....	13
エントリーソースの削除.....	13
Chapter 4. データ定義	14
データ定義の作成.....	14
データ定義一覧ページの操作.....	15
リストされた列をデータ定義に追加または削除する.....	15
データ定義の変更.....	16
別のフォルダへのデータ定義の移動.....	16
データ定義の削除.....	16
Chapter 5. ジャーニー	18
ジャーニーを作成する.....	18
キャンバスのデザイン.....	20
タッチポイント.....	20
電子メールタッチポイントの構成.....	22
SMS タッチポイントの構成.....	23
Salesforce タッチポイントの構成.....	25
Whatsapp タッチポイントの構成.....	25
Journeyコントロール.....	26
オーケストレーション.....	31
追加操作のJourneyキャンバス.....	34
Journey出品ページの操作.....	37
リストページJourneyのフィールド.....	37

ジャーニーでリストされた列を追加または削除します.....	40
インポート・ジャーニー.....	40
詳細の変更Journey.....	41
ジャーニーを別のフォルダーに移動する.....	42
Journeyをエクスポートする.....	42
ジャーニーの削除.....	42
複製Journey.....	43
Journey設定または重複排除.....	43
Journey目標.....	44
Journey統計.....	47
Journeyステータス.....	49
公開されたジャーニーを見る.....	49
Draft Journeysの表示されます.....	49
Paused Journeysを表示する.....	50
完了したジャーニーの表示します.....	50
レポート.....	50
Chapter 6. Journeyチェーニング.....	56
Chapter 7. ジャーニーテンプレート.....	57
Chapter 8. ジャーニーとの統合を提案.....	58
Deliver・オファー・インテグレーション.....	58
リンク・オファー統合.....	61
インターアクト・ネクスト・ベスト・オファー (NBO)	63
コンタクト履歴/レスポンス履歴のトラッキング.....	64
Chapter 9. 設定.....	65
デフォルトの電子メール接続の設定する.....	65
デフォルトの SMS 接続の設定する.....	65
デフォルトの CRM 接続の設定.....	66
デフォルトの ADTECH 接続の設定.....	66
LinkedInのデフォルト接続を設定する.....	66
デフォルトのデータベース接続の設定.....	67
接続を管理する.....	67
RESTの 統合.....	70

新しい REST 統合の作成.....	70
REST 統合リストを表示します.....	70
既存の REST 統合の変更.....	70
REST 統合の削除.....	71
デベロッパーツール.....	71
APIドキュメント.....	71
Chapter 10. 基本的な機能.....	72
検索.....	72
ヘルプ.....	73
プロフィールの情報.....	73
Chapter 11. 共通機能.....	74
フォルダー.....	74
フォルダーの作成.....	74
フォルダを検索する.....	75
フォルダの編集.....	75
フォルダを表示する.....	75
フォルダー内のアーティファクトが表示されます.....	76
1つまたは複数のフォルダーの移動します.....	76
1つまたは複数のフォルダーを削除する.....	77

Chapter 1. 紹介のUnica Journey

Unica Journey#####
#####

Unica Journey#####

- カスタマー エクスペリエンスの目標を定義する
- ジャーニーをリアルタイムで簡単に調整して達成する
- 顧客全体を作成して視覚化するJourneyスマートで直感的なJourneyキャンバス

Journey#####
####Journey.

特徴Unica Journey

Unica Journey#####

- **目標主導のエクスペリエンス:** カスタマー エクスペリエンスの目標を定義し、ジャーニーをリアルタイムで簡単に調整して達成します。
- **オーケストレーション キャンバス:** 洗練された直感的な操作で、チャネル/タッチポイントおよびイベント全体のカスタマー ジャーニー全体を作成および視覚化します。キャンバスJourney。
- **Always on Engagement:** 顧客のブランド エンゲージメントのすべてのステップと同期する、完全に自動化された実行。
- **リアルタイムのインサイト:** カスタマー ジャーニーでの出来事を反映したインサイトを使用して、顧客の行動を理解します。
- **タッチポイントの選択:** デジタル チャネル用のすぐに使用できるネイティブ タッチポイントを活用するか、カスタム タッチポイントを作成して、エコ システム全体のジャーニーをシームレスに調整します。
- **動的データ フレームワーク:** 柔軟なデータ定義とエントリ ソースにより、複数のタッチポイントからのさまざまな形式 (ファイル、API など) のコンテキスト データとイベントでカスタマー ジャーニーを強化します。

利点のUnica Journey

Unica Journey#####

- **ブランド ロイヤルティの向上:** ターゲットを絞った自動化されたジャーニーにより、顧客を獲得、育成、変換、維持することで、ブランド フォローを強化します。
- **強化されたオムニ チャネル エンゲージメント:** アウトバウンドのネイティブ統合により、チャネル全体で一貫したカスタマー エクスペリエンスを提供します (Unica Campaign) およびインバウンド エンゲージメント (Unica Interact 、 Unica Deliver 、 とUnica Discover) 。
- **顧客コンバージョン サイクルを短縮する:** 一歩先を行き、タイムリーなネクスト ベスト アクションで顧客を目標に導きます。

- **瞬間に反応する**: 顧客が旅のどこにいるかを知る機会を逃さず、適切な体験で顧客を喜ばせます。
- **マーケティングの TCO の削減**: 自動化されたフローとプラグ アンド プレイによる MarTech エコシステムへの統合により、マーケティングの TCO を削減します。Unica Link .

Chapter 2. を始めるUnica Journey

###Journey#####

入ってくるデータの入力ソースを定義しますJourney

```
#####Journey#####Journey#Unica Journey#####  
#####Journey #####Journey#####  
#Journey#
```

- **ファイルベースの入力ソース**- 対応するファイル形式は、**CSV**、**TSV**、と**JSON**です。静的なデータの入力をJourneyで取得する必要がある場合、このタイプのエントリソースを作成することができます。
- **REST エントリソース**- このタイプのエントリソースは、実行時にJourneyでデータの入力をサポートします。RESTエンドポイントを使用して、外部システムからJourneyにデータを入力することができます。
- **Kafkaエントリーソース**- このタイプのエントリーソースは、実行時にJourney、データの入力をサポートします。JourneyとUnica CampaignもKafkaを使用して視聴者データを送信します。は、このデータ入力のために専用のKafkaトピックを提供します。Unica Interact Unica Journey Journey
- **Unica Campaign**- このタイプの入力ソースは、実行時にJourneyでデータの入力をサポートします。Unica campaignの入力ソースを使用して、Unica CampaignからJourneyまでデータを入力することができます。
 - Unica campaign入力ソースを選択すると、選択したキャンペーン入力ソースにデータを送信しているすべてのキャンペーンフローチャートの詳細が表示されます。キャンペーン名、キャンペーンID、フローチャート名、フローチャートID、と最終実行日時の情報が含まれます。
- **Unica Interact**- このタイプのエントリーソースは、エントリーソースを作成するための入力を必要としません。エントリーソースを作成すると、そのユニークなコードを使ってInteractからJourneyにデータが送信されます。
- **Unica Discover**- このタイプのエントリーソースは、エントリーソースを作成するための入力はありません。エントリーソースを作成すると、そのユニークなコードを使ってDiscoverからJourneyにデータが送信されます。



Note: V12.1 Fixpack3から、Unica InteractとUnica Discoverのオプションが利用できるようになりました。

に入ってくるデータの形式を定義する。Journey

```
Unica Journey#####  
#####Unica Journey # #####  
##### (#####)#####Journey #####
```

データ定義とエントリーソースでジャーニーを作成する

```
Journey Journey #####Kafka#Unica Campaign#Unica Interact#Unica Discover#REST #####  
#####Journey #####Journey #####Journey #####  
##### #Journey #Journey #####Journey #####1#####
```

#####Journey #####Journey ### ##### #
#####

をデザインする。Journey

Journey #####Journey #####2#####

- **タッチポイント**- 配信チャネルとの統合を可能にします。
- **コントロール**-Journey の実行ロジックを設計するのに役立ちます。

Journeyタッチポイント

#####

アイコン	タッチポイント	説明
	E メール	Unica Deliver を使用してメール通信を送信しますUnica Link
	SMS	SMSを使用して通信を送信します。Unica Link
	Salesforce	Unica Link を使用して、連絡先やリードの追加や更新などの CRM オペレーションを実行します。
	Whatsapp	whatsappを使用してメッセージを送信します。Unica Deliver

Journey制御

#####Journey #####

アイコン	Journeyコントロール名	説明
	決定	Journey デザイナーは、オーディエンスデータ上の設定された条件に基づいてJourney フローを分割できるようにします。
	エンゲージメント	Journey デザイナーは、タッチポイントのアクションに対するオーディエンスの反応に基づいて、Journey フローを分割することが可能です。
	参加	Journey デザイナーが、2つのブランチからデータフローを結合できるようにします。
	遅延	Journey デザイナーは、定義されたステージで、Journey 観客のために実行の遅延を導入することを可能にします。

アイコン	Journeyコントロール名	説明
	公開	設計されたJourney、Journey データをフラットファイル、Kafkaトピック、またはKafkaタイプのエントリーソースに出力できるようにします。
	データベース	#####/###SQL##### #####Journey##### ####

Chapter 3. エントリーソース

#####Journey.Journey1 #####

エントリーソースの作成する

#####

1. エントリーソース」メニューで、「+エントリーソース」をクリックします。
エントリーソースの作成ページが表示されます。
2. 以下のフィールドに適切な値を入力してください。
 - **名前**- 必須
 - **説明文**- 任意
3. エントリーソースをルート (/) フォルダ以外の場所に保存する場合は、**[参照]** をクリックして必要なフォルダを選択します。
4. **[データのインポート元]**セクションで、次のいずれかのオプションから選択します。



Note:

- 顧客の静的データがある場合は、**CSV**、**TSV**、**JSON**を使用します。**REST API**、**Kafka**、**Unica Campaign**、**Unica Interact**、**Unica Discover**をトランザクションモードで使用します。
- **CSV**、**TSV**、**JSON**の場合、複数のファイルを追加することができます。Journeyが重複したデータに遭遇した場合、[Journey設定または重複排除 \(on page 43\)](#)で行った設定に基づき、データを更新するか、データを破棄します。重複排除の設定をしていない場合でも、Journeyは新しいデータを受け入れ、新しく追加されたファイルを処理します。
- **CSV**- このオプションを選択した場合、適切な**CSV**データファイルをアップロードします。
- **TSV**- このオプションを選択した場合、適切な**TSV**データファイルをアップロードします。
- **JSON**- このオプションを選択した場合、適切な**JSON**データファイルをアップロードします。
- **REST API**- このオプションを選択すると、データを動的にプッシュすることができる静的なURLを受け取ることができます。
 - a. REST API キーを生成します。詳細については、[新しい REST 統合の作成 \(on page 70\)](#)を参照してください。
 - b. `http://<localhost>:<port-number>/journey/api/thirdpartylogin` のURLで認証トークンを生成する。
 - c. このURLを認証するために、ステップ(a)で生成したREST APIキーを使用します。
 - d. Journeyにデータを送信するには、上記のRest APIを使用し、認証トークンと `entrySourceCode` を使用してデータを送信してください。
 - e. REST エントリーソースでデータを送信する場合は、`entrySourceCode`は必須です。
- **Kafka**- このオプションを選択すると、データを投稿するための専用のKafkaトピック名が表示されます。
- **Unica Campaign**- このオプションを選択した場合、Unica CampaignからJourneyにデータを送信することができます。プラットフォームのトークン有効期限はデフォルトで15秒なので、手動で10800秒


(3時間) に延長する必要があります。このため、Campaign応募元画面で「Campaignのログインに失敗しました」または「セッションが終了しました」というエラーメッセージが表示されます。アプリケーションに再ログインしてみてください。

パス

「プラットフォーム」 → 「設定」 → 「一般」 → 「その他」 → 「トークン寿命」



Note: 有効期限を延長した後、Campaignアプリケーションを再起動します。

-  **Note:** V12.1 Fixpack 2からUnica Campaignのオプションが利用できるようになりました。Journeyの初期バージョンでは、CampaignからJourneyへのデータ送信にKafkaのエントリーソースを使用していました。
- **Unica Interact-** このオプションを選択すると、Unica InteractからJourneyにデータを送信することができます。
- **Unica Discover-** このオプションを選択すると、Unica DiscoverからJourneyにデータを送信することができます。

5. **エントリーソースの作成** をクリックします。



Note: CSV、TSV形式のファイルエントリーソースの場合、ファイルタイプのエントリーソースの最初の行は、データ定義のフィールド名（対応するデータ定義に記載されているのと同じ大文字と小文字を含む）でなければなりません。Jsonタイプのファイル入力ソースには適用されません。



Note: 日付フィールドの場合、入力ソースに渡されるデータ（ジャーニーズで使用するデータ定義のデータ型が日付の場合）は、データ処理の矛盾を避けるため、データ定義で入力された日付形式と一致させる必要があります。

エントリーソース一覧画面での操作する

#####

エントリーソース リスト ページでは、次の操作を実行できます。

- エントリーソース にリストされた列を追加または削除する ([on page 11](#))
- エントリーソースの変更する ([on page 12](#))
- エントリーソースを別のフォルダに移動する ([on page 13](#))
- エントリーソースの削除 ([on page 13](#))

エントリーソース にリストされた列を追加または削除する

####

#####

次の表に、使用可能なすべての列フィールドを示します。

Table 1. エントリーソースのリストで使用可能な列フィールド

フィールド名	デフォルトフィールド?
コード	Yes
作成者	No
作成日	No
説明	No
エントリーソースの名	Yes
最終更新者	No
最終更新日	Yes
ソース	Yes
ステータス	Yes

#####

1. **[列の追加/削除]** を選択します。
2. 追加または削除するフィールドを選択または選択解除します。デフォルトのフィールドを表示するには、**[デフォルトにリセット]** をクリックします。
3. **[適用]** をクリックして選択を保存します。

エントリーソースの変更する

#####)##### # ##### Idle###Journey .##### Idle#####
[使用#] #####[#]#[#]##### [#####] #####
##

[#####] ##### CSV ## TSV #####

#####

#####

1. 必要なエントリーソースにカーソルを合わせます。
2. **>** を選択する。または、エントリーソース名をクリックします。
3. 必要な変更を行う。詳しくは、[エントリーソースの作成する \(on page 10\)](#)を参照してください。
4. 変更を保存するには、**[エントリーソースの更新]** をクリックします。

エントリーソースを別のフォルダに移動する

1 ### #####

#####

1. 次のいずれかの方法を使用します。
 - a. 単一のエントリーソースを移動するには、必要なエントリーソースの上にカーソルを置いて、> をクリックするか、必要なエントリーソースの前にあるチェックボックスを選択して、**[フォルダに移動]** をクリックします。
 - b. 複数のエントリーソースを移動するには、必要なエントリーソースの前にあるチェックボックスを選択し、**[フォルダに移動]** をクリックします。
2. 必要な宛先フォルダーを選択し、**[ここに移動]** をクリックします。

エントリーソースの削除

#####Idle# #####

Journey#####Journey##

#####

次のいずれかの方法を使用します。

- a. エントリーソースを削除するには、必要なエントリーソースの上にカーソルを置いて、> をクリックするか、必要なエントリーソースの前にあるチェックボックスを選択して、**[削除]** をクリックします。
- b. 複数のエントリーソースを削除するには、必要なエントリーソースの前にあるチェックボックスを選択し、**[削除]** をクリックします。

Chapter 4. データ定義

#####

データ処理

#####

Significant/Email- E##### NULL
#####

Significant/Number - ##### NULL #####

#####- ##### NULL #####
#####

#####

データ定義の作成

#####

1. データ定義メニューで、「+**データ定義**」をクリックします。
データ定義の作成ページが表示されます。
2. 以下のフィールドに適切な値を入力してください。
 - **名前**
 - **説明**
3. データ定義をルート(/)フォルダー以外の場所に保存する場合は、**[参照]** をクリックして必要なフォルダーを選択します。
4. フィールドの詳細」セクションには、自動化された方法で顧客に連絡するためのフィールドの詳細を追加します。各フィールドの詳細には、以下の値の組み合わせが含まれる。
 - **フィールド名** - データと一致させる必要があります。
 - **重要なフィールド** - フィールドJourneyユーザーとの通信に使用します。
 - **データタイプ** フィールドのデータ型。例えば、String、Numeric、または日付などです。日付データ型を選択すると、新しいフィールドが表示されます。日付の形式を入力すると、候補がドロップダウンボックスに表示されます。ドロップダウン・ボックスから選択された値のみが有効な値です。無効な形式を入力した場合、データ定義は作成されますが、処理エラーになります。
 - **必須** - フィールドをエントリソースに渡す必要があるかどうかを示します。詳細については、[データ定義 \(on page 14\)](#)を参照してください。
 - **文字数制限** - 必須項目としてマークされている場合、値として許容される最大文字数。

#####*##### #
#####

5. **データ定義の作成**をクリックします。



Note: Journeyは、利用可能なオプションとは別に、フリーテキストフィールドとしてデータ定義のすべてのJavaの日付形式をサポートしていますドロップダウンです。

データ定義一覧ページの操作

#####

データ定義一覧ページでは、次の操作を実行できます。

- リストされた列をデータ定義に追加または削除する (*on page 15*)
- データ定義の変更 (*on page 16*)
- 別のフォルダへのデータ定義の移動 (*on page 16*)
- データ定義の削除 (*on page 16*)

リストされた列をデータ定義に追加または削除する

#####

次の表に、使用可能なすべての列フィールドを示します。

Table 2. データ定義リストで使用可能な列フィールド

フィールド名	デフォルトフィールド?
コード	Yes
作成者	No
作成日	No
定義名	Yes
説明	No
関連付けられたジャーニー	No
最終更新者	No
最終更新日	Yes
ステータス	Yes

#####

1. **[列の追加/削除]** を選択します。
2. 追加または削除するフィールドを選択または選択解除します。デフォルトのフィールドを表示するには、**[デフォルトにリセット]**をクリックします。
3. **[適用]**をクリックして選択を保存します。

データ定義の変更

#####

任意の状態(ドラフト、完了、一時停止、または公開)のジャーニーに関連付けられている場合、データ定義ステータスは使用中です。ジャーニーに関連付けられていない場合、データ定義ステータスはアイドルです。ステータスが使用中のデータ定義の変更規則は次のとおりです。

ジャーニーの状態	編集 (N/D/F)	重要なフィールドを変更する	重要なフィールドを追加する	新しいデータフィールドを追加する	既存のデータフィールドを変更する	既存のデータフィールドを削除する	ジャーニーとの関連付けを変更する
ドラフト	YES	YES	YES	YES	YES	YES	YES
公開済み	YES	NO	NO	NO	NO	NO	NO
一時停止	YES	NO	NO	YES	NO	NO	NO
完了	YES	NO	NO	NO	NO	NO	NO

#####

1. 必要なデータ定義の上にカーソルを置きます。
2. > アイコンを選択します。または、定義名をクリックします。
3. 必要な変更を行う。詳しくは、[データ定義の作成 \(on page 14\)](#)を参照してください。
4. 変更を保存するには、[データ定義の更新] をクリックします。

別のフォルダへのデータ定義の移動

1 #####

1 #####

1. 次のいずれかの方法を使用します。
 - a. 単一のデータ定義を移動するには、必要なデータ定義の上にカーソルを置き、> をクリックするか、必要なデータ定義の前にあるチェックボックスを選択して[フォルダに移動] をクリックします。
 - b. 複数のデータ定義を移動するには、必要なデータ定義の前にあるチェックボックスを選択し、[フォルダに移動] をクリックします。
2. 必要な宛先フォルダーを選択し、[ここに移動] をクリックします。

データ定義の削除

Idle#####

In Use#####

1 #####

次のいずれかの方法を使用します。

- a. データ定義を削除するには、必要なデータ定義の上にカーソルを置いて、 > をクリックするか、必要なデータ定義の前にあるチェックボックスを選択して **[削除]** をクリックします。
- b. 複数のデータ定義を削除するには、必要なデータ定義の前にあるチェックボックスを選択し、 **[削除]** をクリックします。

Chapter 5. ジャーニー

Unica Journey#####
#####

Unica Journey#####

- カスタマー エクスペリエンスの目標を定義する
- Journeyをリアルタイムで簡単に調整して達成する
- 顧客全体を作成して視覚化するJourneyスマートで直感的なJourneyキャンバス

Journey#####
###Journey.

Unica Link#####Journey#####Unica Journey#####
#####API#####.

#####Journey#####

1. [ジャーニーの作成 \(on page 18\)](#) - ジャーニーの作成Journey必要なエントリ ソースを選択し、使用するデータ定義を指定することにより、Journey .
2. [デザインジャーニー \(on page 20\)](#) - ユーザーJourneyコントロールとタッチポイントを設計するJourney.
3. [ジャーニーの目標 \(on page 44\)](#)を定義する - 定義するJourneyマーケティング目標を評価し、目標を達成するのに役立ちます。 Journey .
4. [ジャーニー設定 \(on page 43\)](#)の定義 - 定義Journey入力する重複データを処理するための設定Journey.
5. [ジャーニーの公開 \(on page 36\)](#) - 公開Journeyの実行を開始します Journey.デフォルトでは、 Journey実行は停止しません。実行は常に ON です。定義できます Journeyを完了するための目標Journey自動的に、または手動でマークを完全なように付けます Journey.
6. [ジャーニーの一時停止 \(on page 36\)](#) - 公開済みのジャーニーを一時停止できます Journeyそしてそれを編集します。
7. [ジャーニーの編集 \(on page 34\)](#) - 一時停止したジャーニーを編集できます Journeyそして再発行します。
8. ジャーニーを完了としてマークする -[ジャーニーを完了として \(on page 37\)](#)マークできます Journey完全に停止します Journey実行。

ジャーニーを作成する

#####

1. ジャーニー メニューで、**+Journey** をクリックします。
新しいジャーニーの作成ページが表示されます。
2. 以下のフィールドに適切な値を入力してください。
 - **名前**- 必須項目です。
 - **説明**- オプションフィールド

3. **参照**をクリックして、Journey を保存する**フォルダー**を選択します。Journey を新しいフォルダに保存したい場合は、フォルダを作成します。詳細については、[フォルダーの作成 \(on page 74\)](#)を参照してください。
4. 必要な**タイムゾーン**を選択します。
異なる時間帯のジャーニーを作成し、その時間帯に実行させることができます。例えば、インドのユーザーで、US PSTのお客様向けに、Journey、12月25日00:00に実行するようスケジュールすることができます。



Note: ジャーニーは、HIPおよびDeliverから受信したすべての応答をUTCタイムゾーンで処理します。ジャーニーがUTC以外のタイムゾーンでレスポンスを受信しても、UTCのタイムゾーンのみで処理されます。このような場合、時間の不一致が発生し、ゴール履歴とゴール分析ページで応答回数が不一致になることがあります。

5. 適切な**マーケティングステージ**を選択する。使用可能な値を以下に示します:

- **参照**
- **保持**
- **移行**
- **活性化**
- **買収**
- **意識改革**

6. マイルストーンをジャーニーに追加するには、「マイルストーンを追加する」チェックボックスを選択します。チェックボックスをオンにした後、キャンバスページで「連絡先の重複を許可しない」と「既存の連絡先を更新する」ラジオボタンを選択し、連絡先を更新するための重複排除の設定を行います。設定を保存する場合は、**[保存して閉じる]**をクリックします。マイルストーンでデザインされたジャーニーは、この重複排除の設定を行わないと公開されません。



Note: V12.1 Fixpack3以降では、ジャーニー作成時にマイルストーンを追加することができます。

7. エントリーソースを選択するには、**[参照]**をクリックします。

#####10##### [\(on page 10\)](#) #####

[\(on page 10\)](#)



Note: マイルストーンを追加したい」にチェックを入れると、「入力ソース選択」セクションが利用できなくなります。次のページでは、入力ソースを選択することができます。

8. データ定義を選択するには、**[参照]**をクリックします。

#####Data Definition#1##### [\(on page 14\)](#) #####

[\(on page 14\)](#)

9. マイルストーンを追加するには、マイルストーン名を入力し、「**追加**」をクリックします。

#####7#####

10. **次へ** をクリック

マイルストーンの詳細ページが表示されます。



Note: オプション「次へ」は、マイルストーンがジャーニーに追加されたときのみ利用できます。

11. マイルストーンの詳細ページでは、追加したマイルストーンにエントリースソースを追加することができます。エントリースソースを選択する場合は、「参照」をクリックします。

#####10#####
#####

12. **保存して続行** をクリックします。

Journey の作成が成功し、**Canvas** ページが表示されます。

キャンバス機能を使って、Journey の動作を設計します。詳細については、[キャンバスのデザイン \(on page 20\)](#)を参照してください。

キャンバスのデザイン

#####Journey#####

#####Journey#####

1. タッチポイントを構成します。詳しくは、[タッチポイント \(on page 20\)](#)を参照してください。
2. 構成するJourneyコントロール。詳しくは、[Journeyコントロール \(on page 26\)](#)を参照してください。
3. 構成するJourneyゴール。詳細については、[Journey目標 \(on page 44\)](#)を参照してください。

タッチポイント

#####

Journey##### SMS #####

#####SMS#####

(on page 14)#####

#####

1. パレットからタッチポイントをドラッグし、Journey始点と終点。
利用可能なタッチポイントは次のとおりです。
 - **メールアドレス**
 - **SMS**
 - **Salesforce**
 - **Whatsapp**

- Facebook
- LinkedIn



Note: V12.1 Fixpack3 以降の AdTech タッチポイントは、Facebook および LinkedIn コネクタをサポートします。

- Building # Updating # Ready # Archived#####



Note: V12.1 Fixpack4 以降、Journey は Whatsapp タッチポイントをサポートします。

2. 追加したタッチポイントをダブルクリックして構成します。

- 適切な**名前**を入力します。名前の追加は必須です。
- 適切な**説明**を入力します。説明の追加はオプションです。
- 次のいずれかのオプションから選択します。
 - **Deliver** -
 - **Link** - [設定] メニューで構成されたデフォルトの接続に接続します。詳しくは、[デフォルトの電子メール接続の設定する \(on page 65\)](#)を参照してください。
- [次]**をクリックします。
- 作成するにはJourney電子メールタッチポイントについては、[電子メールタッチポイントの構成 \(on page 22\)](#)を参照してください。 .
- 作成するにはJourneySMS タッチポイントを使用する場合は、[SMS タッチポイントの構成 \(on page 23\)](#)を参照してください。 .
- 作成するにはJourneySalesforce タッチポイントについては、[Salesforce タッチポイントの構成 \(on page 25\)](#)を参照してください。 .
- 作成するにはJourneyWhatsappタッチポイントで、参照してください[Whatsapp タッチポイントの構成 \(on page 25\)](#)

タッチポイントの削除

- 構成されたタッチポイントをジャーニーから削除すると、関連するリンク アクション ID も削除されます。
- 1 つのジャーニーに複数の構成済みタッチポイントがあり、ジャーニーを削除すると、関連するすべてのリンク アクション ID が削除されます。
- ジャーニーを保存せずに構成済みのタッチポイントを削除しても、関連するリンク アクション ID は削除されません。



Note: V12.1 Fixpack3 以降では、タッチポイントを削除できます。

使い方を理解してJourneyコントロールします。詳細については、[Journeyコントロール \(on page 26\)](#)を参照してください。

電子メールタッチポイントの構成

```
#####Unica Link#Deliver#####
#Deliver#Link#####
```

この手順を開始する前に、[を参照してください。タッチポイント \(on page 20\)](#)。

```
#####
```

[デフォルトの電子メール接続の設定する \(on page 65\)](#) でデフォルトのメール接続を設定している場合、デフォルトの接続設定が**Mailchimp**の場合は、ステップ(4)に進みます。デフォルトの接続先が**Mandrill**の場合、ステップ(5)に進みます。デフォルトの電子メール接続を設定していない場合は、**[既存の接続]**ダイアログが開きます。

1. **Mailchimp**または**Mandrill**のいずれかを選択し、**[次へ]**をクリックします。
[新しいアクションの作成]ダイアログが表示されます。このダイアログでは、**[既存の接続]**を選択して別のコネクタに切り替えることもできます。
2. デフォルトの接続が**Mailchimp**の場合は、次のステップを実行します。
 - a. 次のフィールドに値を入力します。
 - ・ **連絡先アクション**-必須。連絡先に対して実行されるアクション。
 - ・ **対象者**-必須。オーディエンスを保存するリスト。
 - ・ **新しいメールキャンペーン**-必須。新しいメールキャンペーンの名前。
 - ・ **メールテンプレート**-必須。メールに使用されるテンプレート。
 - ・ **メールの件名**-必須。ユーザーに送信される電子メールの件名。
 - ・ **プレビューテキスト**-オプション。メールの本文の一部となるテキスト。
 - ・ **送信者の名前**-必須。顧客に電子メールを送信した送信者。
 - ・ **メールへの返信**-必須。顧客が返信するために使用される電子メールアドレス。
 - ・ **タグで連絡先をグループ化**-オプション。
 - ・ **結果の取得終了日**-オプション。
 - b. **[次]**をクリックします。
[フィールドマッピング]ダイアログが表示されます。
 - c. メールコネクタフィールドを適切なものにマッピングしますJourneyフィールド（に関連付けられたデータ定義から取得Journeyその間Journey作成）。マッピングによって実行時に値が変更されるため、これは不可欠です。
マッピングにより、電子メールのパーソナライズが実現します。mailchimpで、mailchimpのfirst_nameをのfnameにマップするとJourneyまた、last_nameをlnameにすると、電子メールの敬礼はフィールドの値に合わせてパーソナライズされます。
 - d. **[保存]**をクリックします。
3. デフォルトの接続が**Mandrill**の場合は、次のステップを実行します。

a. 次のフィールドに値を入力します。

- ・ **メールテンプレート**-必須。[**フェッチ**]をクリックして、使用可能なテンプレートを表示します。
- ・ **送信者の電子メール**-オプション。通信を送信するユーザーの電子メールアドレス。
- ・ **メールの件名**-オプション。ユーザーに送信される電子メールの件名。
- ・ **メールへの返信**-オプション。顧客が返信するために使用される電子メールアドレス。
- ・ **結果の取得終了日**-オプション。顧客の応答を受け入れる日付を構成します。



Note: Mandrillを構成するときに、オプションのフィールドに値を指定しない場合、Mandrillは選択したMandrillテンプレートから値をフェッチします。Mandrillでテンプレートを作成するときに、必ずすべての値を指定してください。

b. [**次**]をクリックします。

[**フィールドマッピング**]ダイアログが表示されます。

c. メールコネクタフィールドを適切なものにマッピングしますJourneyフィールド（に関連付けられたデータ定義から取得Journeyその間Journey作成）。マッピングによって実行時に値が変更されるため、これは不可欠です。

マッピングにより、電子メールのパーソナライズが実現します。マンドリルでは、マンドリルのFIRSTNAMEをのFirst_NameにマップするとJourneyLASTNAMEからLast_Nameの場合、電子メールの敬礼はフィールドの値に合わせてパーソナライズされます。



Note: Mandrillは、[**フィールドマッピング**]ダイアログで最大5つのパーソナライズフィールドをサポートします。

d. [**保存**]をクリックします。



Note: 電子メールタッチポイントは、配信やリンクなどの配信チャンネルで構成できます。ジャーニーがドラフトモード（以前は公開されていません）の場合、ユーザーは配信チャンネルを配信からリンクに、またはその逆に変更することはできません。1つの配信チャンネルを設定したら、それを別の配信チャンネルに変更しないでください。必要に応じて、ユーザーは電子メールタッチポイントを削除し、新しい配信チャンネルで構成できます。

#####

#####Journey#####

##Journey#####

SMS タッチポイントの構成

#####SMS #####Unica Link#Deliver#####

#Deliver#LinkSMS #####

この手順を開始する前に、[タッチポイント \(on page 20\)](#)を参照してください。

SMS #####



Note: 現在、Unica は LINK (Twilio) および SMS 接続用の配信をサポートしています。

1. Link を選択する。

SMS ##### SMS ##### (on page 65)#####

新しいアクションの作成ページが表示されます。

a. 次のフィールドに値を入力します。

- ・ **メッセージ**- 必須。これは、パーソナライズ フィールドを追加できるフリー テキスト テキスト ボックスです。例:こんにちは <名> へようこそJourney.ここで<First Name>はパーソナライズされたフィールドであり、マッピングすることができますJourney次のステップのフィールド。1 つの SMS に最大 5 つのパーソナライズ フィールドを追加できます。

b. **[次へ]** をクリックします

- ・ **[フィールドマッピング]** ダイアログが表示されます。

c. SMS コネクタ フィールドを適切な Journey フィールド (に関連付けられたデータ定義から取得) Journeyその間Journey作成) 。マッピングによって実行時に値が変更されるため、これは不可欠です。

d. **[保存]** をクリックします。

2. DeliverSMS を送信するための Deliver 次の手順を選択と完了して構成します

Unica Deliver 選択した場合、あなたはに接続されていますUnica DeliverSMS を送信するための実行エンジン。

a. 次の前提条件が満たされていることを確認します。

- ・ 作成Unica Deliverの SMS テンプレートUnica Deliver.
- ・ Unica Deliverを使用して構成する SMS タッチポイントごとに SMS テンプレートを作成します。 .テンプレートの作成の詳細についてはUnica Deliver、 *Unica Deliver*ユーザー ガイドを見てください。

b. **[SMS 構成]** ダイアログで、次を選択します。 **Deliver [次へ]** をクリックします。

[テンプレートの選択] ダイアログが表示されます。

c. 必要なテンプレートを選択します。複数のテンプレートがある場合は、検索バーを使用して必要なテンプレートを見つけます。 **[次]** をクリックします。



Note: Unica Deliverの、SMS タッチポイントを構成するためにテンプレートが選択されると、他の SMS タッチポイントを構成するために使用できなくなります。この条件は、構成直後にジャーニーを公開する場合にのみ適用されます。ジャーニーを公開しない場合、その間に別のユーザーが同じテンプレートを使用したい場合、他のユーザーは SMS タッチポイントを構成するために使用できます。他のユーザーが公開した場合 Journey、別のテンプレートを使用して再構成する必要があります。

[マッピング] ダイアログが表示されます。

- d. 適切なマップDeliverフィールドJourneyフィールド (関連付けられたデータ定義から取得)Journeyその間Journey作成)。マッピングによって実行時に値が変更されるため、これは不可欠です。

マッピングにより、SMS へのパーソナライゼーションが実現されます。のDeliverのFirstNameをマッピングする場合Deliverの名前にJourney.LastNameをlnameにすると、SMS の挨拶文はフィールドの値に合わせてパーソナライズされます。

- e. [保存]をクリックします。

Salesforce タッチポイントの構成

Salesforce #####Salesforce #####Salesforce #####
Salesforce #####

この手順を開始する前に、[タッチポイント \(on page 20\)](#)を参照してください。

Salesforce #####

1. Salesforce コネクタで デフォルトの Salesforce コネクタとして設定します。[デフォルトの CRM 接続の設定 \(on page 66\)](#)。
新しいアクションの作成ページが表示されます。
2. 次のフィールドに値を入力します。
 - **オブジェクト アクション**- 必須。新しいオブジェクトを作成するか、既存のオブジェクトを更新するかを指定します。
 - **オブジェクト タイプ**- 必須。新しい見込み客または連絡先を作成するかどうかを指定します。
3. [次]をクリックします。
[フィールドマッピング]ダイアログが表示されます。
4. Salesforce フィールドを適切なJourneyフィールド (ジャーニーの作成中にジャーニーに関連付けられたデータ定義から取得)。マッピングによって実行時に値が変更されるため、これは不可欠です。
5. [保存]をクリックします。

Whatsapp タッチポイントの構成

whatsapp #####Whatsapp #####Whatsapp # Unica Deliver #####Unica Deliver ##### whatsapp #####

この手順を開始する前に、[タッチポイント \(on page 20\)](#)を参照してください。

Whatsapp #####

1. Whatsapp タッチポイントをダブルクリックします。
Whatsapp メッセージングページが表示されます。
2. 次のフィールドに値を入力します。

- **名前**- 必須。
 - **説明**- 必須ではありません。
3. **[次]**をクリックします。
[通信の選択]ページが表示されます。
 4. 必要なテンプレートを選択します。複数のテンプレートがある場合は、検索バーを使用して必要なテンプレートを見つけます。
 5. **[次]**をクリックします。
マッピングページが表示されます。
 6. マップ適切なフィールドJourneyフィールド (関連付けられたデータ定義から取得)Journeyその間Journey作成)。マッピングによって実行時に値が変更されるため、これは不可欠です。
マッピングは、Whatsapp へのパーソナライゼーションを実現します。のDeliverのFirstNameをマッピングする場合Deliverの名前にJourneyLastNameをlnameにすると、whatsapp のあいさつ文がフィールドの値に合わせてパーソナライズされます。
 7. **[保存]**をクリックします。

Journeyコントロール

Journey#####

タッチポイントを設定したら、タッチポイントまたはタッチポイントの応答に条件を適用できます。Journeyコントロールには、次のアクションが含まれます。

- **判断の分かれ目**
- **Engagement Split**
- **参加**
- **遅延**
- **公開**
- **データベース**

Journey#####

1. 決定分岐コントロールを追加するには、[Decision Splitコントロールの構成 \(on page 29\)](#)を参照してください。 .
2. Engagement Split コントロールを追加するには、以下を参照してください。[Engagement Splitコントロールの構成 \(on page 28\)](#) .
3. 結合コントロールを追加するには、[Joinコントロールの構成 \(on page 27\)](#)を参照してください。 .
4. 遅延コントロールを追加するには、[遅延制御の構成 \(on page 26\)](#)を参照してください。 .
5. パブリッシュ コントロールを追加するには、[公開の構成 \(on page 31\)](#)次を参照してください。 .

遅延制御の構成

#####

[\(on page 18\)](#)#####

#####

1. パレット内のコントロールパネルからJourney、追加されたタッチポイントの前後に**遅延**コントロールをドラッグとドロップします。タッチポイントの追加については、[タッチポイント \(on page 20\)](#)を参照してください。
2. **遅延**コントロールをダブルクリックします。
[遅延の設定]ダイアログが表示されます。
3. 次の値を指定します。
 - a. 適切な**名前**を入力します。名前は必須です。
 - b. 適切な**説明**を入力します。説明はオプションです。
 - c. **[期間]**を選択するか、**[待機日]**を選択するか、**[待機日] ([データ定義]フィールド別)**を選択して、適切な値を入力します。



Note: [データ定義]フィールドで、必須フィールドとして日付がある場合、遅延制御を日付に設定できます。

- d. **[式を使用]**チェックボックスがオフの場合、ドロップダウンのある**[フィールドを選択]**のみが使用可能です。[式を使用する]チェックボックスがオンになっている場合は、**[選択]**フィールドとともに、**[演算子]**と**[日数]**を選択して遅延を構成することもできます。
- e. **[完了]**をクリックします。



Note: ジャーニーが遅延していて、遅延期間を更新すると、遅延の変更により、既存のすべてのオーディエンスが新しい設定日まで待機する可能性があるという警告メッセージが表示されます。続行してもよろしいですか? 表示されています。

Joinコントロールの構成

Join ##### 1 #####

例: メールを送信し、ユーザーを次のように分割するエンゲージメントコントロールを追加しました。

- **YES-** リンクをクリックしたユーザーの場合。
- **NO-** リンクをクリックしなかったユーザー向け。

SMS ##### JourneyCanvas #####Join #####no### SMS
SMS



Note:



- Join が循環ループに陥った場合、ポップアップが表示され、警告が表示されます。
- フローの間に結合をドラッグアンドドロップすると、結合の下のフローが削除されることを示す確認ポップアップが表示されます。

Join

1. Journeyからパレットで、**Join**コントロールをドラッグし、コントロールの必要な**YES**または**NO**フローにドロップします。タッチポイントの追加については、[タッチポイント \(on page 20\)](#)を参照してください。
2. 追加した**Join**コントロールをソースから、フローをマージする宛先にドラッグします。

Engagement Splitコントロールの構成

Engagement Split#####
#####YES#####NO#####

Engagement Split#####

1. パレットからJourney、追加されたタッチポイントの後に**Engagement Split**コントロールをドラッグします。タッチポイントの追加については、[タッチポイント \(on page 20\)](#)を参照してください。
2. 追加した**Engagement Split**要素をダブルクリックします。
Engagement Splitダイアログが開きます。
3. 次のフィールドに値を入力します。
 - **名前**-必須
 - **説明**-オプション
4. **Engagement Split**コントロールを追加するタッチポイントを選択します。選択できるのは、Engagementコントロールの上のタッチポイントのみです。オプションは次のとおりです。
 - **E-メール -Engagement Split**コントロールの上のすべてのメールタッチポイント。
 - **SMS -Engagement split**コントロールの上のすべてのSMSタッチポイント。
5. 次のいずれかの手順を実行します。
 - a. E-メールタッチポイントの場合、次のいずれかのイベントを選択します。
 - **バウンス**-バウンスしたE-メール IDの場合。バウンスイベントは、ハードバウンスイベントまたはソフトバウンスイベントの場合があります。
 - **開くメールを開いた顧客向け**。
 - **リンクをクリックしましたか?** -メール内のリンクをクリックしたお客様向け。



Note:

- デフォルトのメール接続としてMailchimpを選択した場合、Mailchimpはバウンスイベントをに送信しないため、**バウンス**オプションを選択しないでくださいUnica Journey。バウンスオプションを使用する場合は、デフォルトのメール接続としてマンドリルを設定します。Mandrillコネクタの場合、Journeyはハードバウンスイベン



トとソフトバウンスイベントをサポートします。デフォルトのメール接続の設定については、[を参照してください。デフォルトの電子メール接続の設定する \(on page 65\)](#)。

b. SMSタッチポイントの場合、次のいずれかのイベントを選択します。

- ・ 送信済
- ・ 配信

6. **[Track Link]** -[クリックされたリンク]オプションを選択すると、[配信]の場合、入力されたタッチポイントに関連付けられたテンプレートに存在するすべてのリンクが[Track Link]ファイルのドロップダウンに表示されます。Linkの場合、このフィールドはテキストフィールドとして表示されます。

7. 顧客が通信メッセージにアクセスできるように、次の評価期間のいずれかを設定します。

- **期間** 期間を日、時間、または分で設定します。デフォルトでは、Engagement Splitの評価期間の最小期間は30分です。
- **日付まで待つ** 期間を特定の将来の日付に設定します。デフォルトでは、翌日の日付が選択されています。

```
#####[#####]#####[#]
#####[#####]#####Journey tab#Journey > Journey_Configurations >
Journey_Waittime_Configurations#####1#####
#####/#####50#####
50#20#####Journey#####
#####
```

8. **[完了]**をクリックします。

Decision Splitコントロールの構成

```
#####YES#####NO#####
##
```

```
#####
##
```

Decision Split#####

1. Journeyパレットから、**Decision Split**コントロールをドラッグとドロップします。




Note: キャンバス上の既存の要素間で**Decision Split**をドラッグアンドドロップすると、確認ダイアログが表示されます。残りのフローを**YES**フローまたは**NO**フローのどちらに追加するかを確認します。

2. **Decision Split**コントロールを構成するには、キャンバス上のコントロールをダブルクリックします。

Decision Splitページが表示されます。

3. **Decision Split**コントロールを構成するには、次の手順を実行します。

- a. 適切な**名前**を入力します。名前は必須です。
- b. 適切な**説明**を入力します。説明はオプションです。
- c. トグルボタンを使用して、条件を**OR**または**AND**として設定します。デフォルトでは、条件は**AND**に設定されています。選択は、グループ内のすべてのルールに適用されます。選択した条件は、グループに複数のルールを追加した場合にのみ適用されます。
- d.  **Note:** グループには1つ以上のルールが含まれます。ルールには、検証する条件のフィールド、条件、および値があります。少なくとも1つのグループを構成する必要があり、グループには少なくとも1つのルールが含まれている必要があります。

最初のドロップダウンボックスでデータフィールド ([データ定義]フィールドと同じ) を選択し、2番目のドロップダウンボックスで条件を選択し、3番目のテキストボックスに値を入力して、ルールを作成します。

```
Decision Split#####
#####
```

```
Decision Split#####
##DecisionSplit#####
```

- e. グループにルールを追加するには、[**+ルールの追加**]を選択します。ルールを削除するには、ルールに続く**X**を選択します。
- f. グループを追加するには、[**+グループの追加**]を選択し、ステップcからステップeを実行します。親グループでは、サブグループに5つのレベルのネストが許可されます。ただし、同じレベルで任意の数のグループを追加できます。
- g. グループを削除するには、[**グループの削除**]を選択します。



Note:

- グループを削除できるのは、グループが複数ある場合のみです。デフォルトでは、意思Decision Splitコントロールには、少なくとも1つのルールを持つ少なくとも1つのグループが含まれている必要があります。
- グループにネストされたサブグループがあり、削除する親グループを選択すると、サブグループも削除されることを警告する確認ボックスが表示されます。

- h. 顧客が条件が満たされるのを待つために、次の評価期間のいずれかを設定します。
 - 期間-期間を日、時間、または分で設定します。デフォルトでは、意思決定評価期間の最小期間は5分です。
 - 日付まで待つ-期間を特定の将来の日付に設定します。デフォルトでは、翌日の日付が選択されています。

```
#####Journey#####Journey###
#####NO#####

#####
```

i. **Decision Split**を保存するには、**[完了]**を選択します。



Note: Journeyは、必須ではないフィールドのデータ値を解釈しておらず、常に任意の値の文字列と見なされます。したがって、nullはデータベースでnullと見なされ、nullのマイルストーン条件は、そのフィールドが入力がない場合にのみ評価されます。同じことがマイルストーンとマイルストーン分析にも当てはまります。

オーケストレーション

```
Journey Orchestration##Journey#####.
```

```
Journey#####
```

- **公開**
- **データベース**
- **Rest API**

```
Journey #####
```

1. Publishを設定するには、[公開の構成 \(on page 31\)](#)を参照してください。
2. Databaseを設定するには、[データベースの設定 \(on page 32\)](#)を参照してください。
3. Rest APIを設定するには、以下を参照してください。[Rest APIの設定 \(on page 32\)](#)

公開の構成

```
Publish#####CSV#####Kafka#####
#####

#####CSV#####Kafka#####Kafka#####
#Journey#####application.properties#####spring.entity.files.upload.defaultPath#
#####Journey#####Journeyweb#####Journey#####Journey web#####
#Journey#####<JOURNEY_ENGINE_HOME> / Files###

#####
```

1. からJourneyパレット内のコントロールパネルで、**公開**コントロールをCanvasの必要な部分にドラッグアンドドロップします。
[公開]ダイアログが表示されます。
2. 次のフィールドに値を入力します。

- **名前**-必須
 - **説明**-オプション
3. 連絡先を保存するには、次のいずれかのオプションを選択します。
- **CSV**-データ定義で構成されたフィールドがCSVファイルにエクスポートされます。新しいCSVファイル名を指定するか、既存のCSVファイルの名前を入力することができます。既存のファイルを選択すると、データが既存のファイルに追加されます。
 - **Kafka > エントリソース**-単一の発行コントロールを使用して、最大10個のKafkaエントリソースを構成できます。ジャーニーに関連付けられているKafkaエントリソースは、パブリッシングジャーニーコントロールでKafkaエントリソースを構成している間はリストされません。Journeyのために、Kafkaエントリソースが公開で構成されている場合Journey制御し、同じKafkaエントリソースが他のジャーニーに関連付けられている場合、データは、構成されたデータ定義に従って、選択されたジャーニーに対して処理されます。
 - **Kafka > トピック**-サードパーティアプリケーションで使用するために、Kafkaトピックに関するオーディエンス情報を投稿します。トピックに適切な名前を付けてください。トピックはKafkaサーバーに保存されます。Kafkaトピック名の長さは最大50文字で、A-Z, a-z, 0-9、ピリオド(.), アンダーバー(_), およびハイフン(-) 必要があります。
4. **[保存]**をクリックします。

データベースの設定

```
#####/##/#####Journey#####
#####
```

1. パレット内のJourney コントロールパネルから、**データベースコントロール**をキャンパス上の必要な部分にドラッグ&ドロップします。
[データベース設定]ダイアログが表示されます。
2. 次のフィールドに値を入力します。
 - **名前**-必須
 - **説明**-オプション
3. **[次]**をクリックします。
「新規アクションの作成」 ページが表示されます。
4. デフォルトのデータベース接続は、「既存の接続」フィールドに反映されます。また、データベースの定義されたプロパティは、それぞれのプロパティフィールドに反映される。利用可能な接続から必要な接続を選択します。
5. **[次]**をクリックします。
[フィールドマッピング] ページが表示されます。
6. **データベースフィールド**と **Journey フィールド**を対応させる。
7. **[保存]**をクリックします。

Rest APIの設定

Rest API Orchestrationを使用して、Journeyフィールドをペイロードとして他のアプリケーションに送信する。

Rest API#####

1. パレット内のJourney コントロールパネルから、**Rest API**コントロールをCanvas上の必要な部分にドラッグとドロップします。

Rest API Configurationダイアログが表示されます。

2. 次のフィールドに値を入力します。
 - **名前**-必須
 - **説明**-オプション
 - **Rest URL**- データを受け取りたいAPIを指定します。
 - **API詳細**-APIメソッドと認証機構を選択します。APIメソッドは3つあります。
 - **GET**- 残りのURLで設定された宛先エンドポイントからデータを取得するために使用されます。
 - **POST**- データを公開するために使用されます。
 - **PUT**- レコードを公開/更新するために使用されます。

#####Basic#API Key#Oauth # None#4#####

選択されたAPIメソッドと認証メカニズムに基づき、以下のフィールドが表示されます。

#####

API#####Enter Credentials to authenticate#####Key Name###Key Value#####
#####

Oauth#####ID#####
URL#####

NoneAuthentication mechanism#####

3. **[次]**をクリックします。
リクエストペイロード] ページが表示されます。
4. Rest APIの種類を**JSON**または**XML**から選択し、ペイロードを追加します。参考のため、**Sample Payload**をクリックしてください。



Note: Request Payload画面は、**POST**および**PUT**APIメソッドで利用可能です。**GET**の場合、フィールドは無効のままです。

5. **[次]**をクリックします。
応答フィールドのマッピング] ページが表示されます。
6. ドロップダウンから**JourneyFields**を選択し、**Response Fields**に目的地システムから受け取った応答を記載します。



Note: GET APIメソッドではResponse Mappingが必須ですが、POST APIメソッドおよびPUT APIメソッドでは必須ではありません。

回答は5つのクラスに分類されています。

- a. 情報提供の回答 (100-199)
- b. 成功した回答 (200-299)
- c. リダイレクト (300-399)
- d. クライアントエラー (400-499)
- e. サーバーエラー(500-599)

7. **保存**] をクリックします。

Rest APIはJourneyに設定され保存されます。

追加操作のJourneyキャンバス

#####Journey#####

の表示または編集Journey

を表示または編集するにはJourney、次の手順を実行します。

1. のためにJourney、 Journeyキャンバス画面で、**[その他のアクション >] [詳細の表示/編集]**をクリックします。

- ドラフト状態のジャーニーのエントリソースとデータ定義を追加または削除できます。
- データ定義を削除すると、キャンバスが消去されます。
- 公開されたジャーニーの場合、変更できるのは名前、説明、およびフォルダーのみです。
- 一時停止したジャーニーの場合、エントリソースを追加または削除できます。

詳細ページが表示されます。

2. 必要な変更を加え、**[保存して続行]**をクリックします。詳細については、を参照してください。 [ジャーニーを作成する \(on page 18\)](#)。

3. 必要に応じて、ドラフトのタッチポイントとコントロールの構成を編集または削除できます Journeyまたは一時停止Journey**[保存]**をクリックして保存します Journeyドラフト状態。 **[公開]**をクリックして、 Journey。

テンプレートとして保存する

#####

1. のためにJourney、 Journeyキャンバス画面で、**[その他のアクション]をクリックします > テンプレートとして保存します。**

このJourneyをテンプレートとして保存しますか? ダイアログが表示されます。

- 2. 新しいテンプレートに名前を付けます。
- 3. **[保存]**をクリックします

#####[#####]##### (on page 57)

複製Journey

#####Journey#####[Journey \(on page 43\)](#)#####

#####Journey#####Journey#####
#####Journey#####Journey#####

既存のコピーを作成するにはJourney、次の手順を実行します。

1. のためにJourney、 Journeyキャンバス画面で、**[その他のアクションの > 複製]**をクリックします。
DuplicateJourneyダイアログが表示されます。
2. **[コピー]**をクリックしてコピーを作成します。

既存のすべての詳細Journey、 エントリソース、 データ定義、 およびジャーニーキャンバスとその構成が含まれています。



Note: 目標が設定されている場合、それらはコピーされません。

#####Journey#####Journey#####
#####

新しく複製されたJourneyキャンバスモードで開きます。

のエクスポート Journey

#####Journey#####
Journey#####

Journey#####

のためにJourney、 Journeyキャンバス画面で、**[その他のアクション >] [ジャーニーのエクスポート]**をクリックします。

crcファイルとzipファイルがダウンロードされます。



Note: ユーザーがCRMタッチポイントを使用したジャーニーを構成し、目標を構成している場合、ジャーニーがターゲットシステムにエクスポートされる場合、エラーなしで編集目標ページにアクセスするには、ターゲットシステムでCRMタッチポイントを再度構成する必要があります。

Journey#####Journey##### (on page 42)

削除する Journey

#####Journey##Journey##### (on page 42)##### #

#####Journey#####

#####Journey#####

1. のためにJourney、 Journeyキャンバス画面で、**[削除]**をクリックしてジャーニーを削除します。
確認ボックスが表示されます。

2. **[はい]**をクリックして削除しますJourney。

#####

を終了しますJourney

を終了するにはJourneyキャンバスページで、次の手順を実行します。

のためにJourney、Journeyキャンバス画面で、**[終了]**をクリックして終了しますJourneyキャンバススクリーン。

保存するJourney

保存するにはJourney、次の手順を実行します。

のためにJourney、Journeyキャンバス画面で、**[保存]**をクリックして、の追加または更新された詳細を保存しますJourney。

公開Journey

```
##Journey#####Journey#Journey#####Journey#####  
#####Journey#####Journey#####Journey #####  
###unique_58 (on page      )##### #
```

```
#####Journey#####Journey#####  
#####Journey#####Journey#####  
#####Journey#####
```

```
#####Journey#####
```

のためにJourney、Journeyキャンバス画面で、**[公開]**をクリックして公開しますJourney。

一時停止と編集Journey

```
#####Journey#
```

```
#####Journey#####
```

- [名前]フィールド、[説明]フィールド、および[公開済み]状態のジャーニーのフォルダーの場所のみを変更できます。
- あなたは変更することができます Journeyジャーニーが一時停止状態のときのキャンバス。
- ドラフトおよび一時停止状態のジャーニーのエントリーソースを追加できます。

```
#####Journey#Journey#####
```

```
#####Journey#####
```

1. 選択する > **公開されました**。
2. を選択Journey変更のため。詳細については、[詳細の変更Journey \(on page 41\)](#)を参照してください。

がJourney選択したキャンバスJourneyが表示されます。

3. **[一時停止して編集]**をクリックします。

確認ボックスが表示されます。

4. **[一時停止]**をクリックします。

がJourney一時停止され、Journeyエントリは一時停止されたジャーニーのリストページに移動されます。

マーキング Journey 完全なものとして

```
#####Journey#####Journey##
(on page 44) #####Journey#####
```

```
#####Journey#####
```

1. 選択する > **公開されました。**
2. を選択Journey完了としてマークします。詳細については、[詳細の変更Journey \(on page 41\)](#)を参照してください。

TheJourney選択したキャンバスJourneyが表示されます。

3. **その他のアクション > マークしてJourney完全なものを選択します。**

TheJourney完了としてマークされます。

Journey 出品ページの操作

```
Journey##### 4 #####
```

- 公開済み
- ドラフト
- 一時停止
- 完了

リストページ Journey のフィールド

```
Journey##### 4 #####Journey#####.#####
#####
```

[公開済み] タブのフィールド

次の表に、公開されたジャーニーの一覧ページで使用できるすべてのフィールドとカスタマイズ可能なフィールドを示します。

Table 3. [公開済み] タブのフィールド

フィールド名	デフォルト フィールド?
コード	Yes
作成者	No

Table 3. [公開済み] タブのフィールド (continued)

フィールド名	デフォルト フィールド?
関連するデータ定義	No
説明	No
関連するエン트리ソース	No
目標の進捗	Yes
最終更新者	No
最終更新日	Yes
マーケティング段階	Yes
名前	Yes
公開	Yes

下書きタブのフィールド

次の表に、ドラフト ジャーニー リスト ページで使用できるすべてのフィールドとカスタマイズ可能なフィールドを示します。

Table 4. 下書きタブのフィールド

フィールド名	デフォルト フィールド?
作成者	No
作成日	No
コード	Yes
関連するデータ定義	Yes
説明	No
関連するエン트리ソース	Yes
最終更新日	Yes
最終更新者	No
マーケティング段階	Yes
名前	Yes

一時停止タブのフィールド

次の表は、一時停止したジャーニーの一覧ページで使用できるすべてのフィールドとカスタマイズ可能なフィールドを示しています。

Table 5. 一時停止タブのフィールド

フィールド名	デフォルトフィールド?
コード	Yes
作成者	No
関連するデータ定義	No
関連するエン트리ソース	No
説明	No
目標の進捗	No
最終更新者	No
最終更新日	Yes
マーケティング段階	Yes
名前	Yes
一時停止	Yes
公開	No

[完了] タブのフィールド

次の表は、一時停止したジャーニーの一覧ページで使用できるすべてのフィールドとカスタマイズ可能なフィールドを示しています。

Table 6. [完了] タブのフィールド

フィールド名	デフォルトフィールド?
コード	Yes
完了日	Yes
作成日	No
関連するデータ定義	No
説明	No
関連するエン트리ソース	No

Table 6. [完了] タブのフィールド (continued)

フィールド名	デフォルト フィールド?
目標達成	Yes
最終更新者	No
マーケティング段階	Yes
名前	Yes
公開	No

ジャーニーでリストされた列を追加または削除します

#####

- [公開されたジャーニー] タブのフィールドの詳細については、次を [Table 3: \[公開済み\] タブのフィールド \(on page 37\)](#)参照してください。 .
- [ドラフト ジャーニー] タブのフィールドの詳細については、次 [Table 4: 下書きタブのフィールド \(on page 38\)](#)を参照してください。 .
- [一時停止したジャーニー] タブのフィールドの詳細については、次 [Table 5: 一時停止タブのフィールド \(on page 39\)](#)を参照してください。 .
- [完了したジャーニー] タブのフィールドの詳細については、次 [Table 6: \[完了\] タブのフィールド \(on page 39\)](#)を参照してください。 .

#####Journey#####

1. **[列の追加/削除]** を選択します。
2. 追加または削除するフィールドを選択または選択解除します。デフォルトのフィールドを表示するには、**[デフォルトにリセット]**をクリックします。
3. **[適用]**をクリックして選択を保存します。

インポート・ジャーニー

Journey#####

#####

1. **インポート・ジャーニー**をクリックする
検索窓が表示されます。
2. システムからインポートするために必要な**crc**と**zip**ファイルを選択します。



Note: zipファイルのみ、またはcrcファイルのみを選択した場合、「開く」時に「少なくとも2つのファイルを選択してください」というエラーメッセージが表示され、**続行**できません。

3. 「開く」をクリックする

ジャーニーファイルが正常にインポートされました。

```
#####Journey#####
```

4. インポートするたびに、以下の詳細がソースのJourneyからターゲットのJourneyにコピーされます。

- ソースシステムと同じエン트리ソースが、新しいエン트리ソースコードで作成されます。
- ソースシステムと同じデータ定義が、新しいデータ定義コードで作成されます。
- Journey - ##### - #####

Deliver#####
- エンゲージメント・スプリット-インポート後、テンプレートが配信タッチポイントに割り当てられないため、配信の場合のリンククリックのドロップダウンを除き、すべての詳細がコピーされます。
- ジャーニーマイルストーンがコピーされます。各マイルストーンに関連するエン트리ソースは、マイルストーン条件と一緒にコピーされます。
- すべてのJourney Goalがコピーされます。Deliverの場合、リンククリックのドロップダウンはコピーされません。
- ジャーニー・デ・デュプリケーションの設定がそのままコピーされます。



Note: オファー統合の設定やパーティションの設定はコピーされません。

- 一度にエクスポートできるのは1つのJourneyのみです。ただし、同じエクスポートファイルを使用して、ターゲットシステムで複数回ジャーニーをインポートすることができます。(この場合、ジャーニーをインポートするたびに、エン트리ソースとデータ定義が作成されます。)



Note: ユーザーがCRMタッチポイントを使用したジャーニーを構成し、目標を構成している場合、ジャーニーがターゲットシステムにインポートされると、ターゲットシステムでCRMタッチポイントを再度設定し、エラーなしでゴール編集ページにアクセスできるようにする必要があります。

詳細の変更Journey

```
Journey##Journey#####
```

編集規則は次のとおりです。

- すべてのフィールドとJourneyドラフト状態のジャーニーのキャンバス。
- [公開済み] 状態、[一時停止] 状態、または [完了] 状態のジャーニーの [名前] フィールド、[説明] フィールド、およびフォルダーの場所のみを変更できます。
- Journeyキャンバスは、ドラフトおよび一時停止状態のジャーニーに対して編集可能になります。
- Journeyキャンバスは、完了済みおよび公開済みの状態のジャーニーでは編集できません。
- ドラフトおよび一時停止状態のジャーニーのエン트리ソースを追加できます。

```
Journey#####Journey#####Journey (on page 34)#####
```

Journey#####

1. カーソルが必要なJourney.
2. > アイコンを選択します。または、Journey名前 をクリックします。
3. 必要な変更を行う。詳しくは、[ジャーニーを作成する \(on page 18\)](#)を参照してください。
4. 変更を保存するには、**ジャーニーの更新**をクリックします。

ジャーニーを別のフォルダーに移動する

[#####]

1 #####

1. 次のいずれかの方法を使用します。
 - a. シングルを移動するにはJourney、必要な旅の上にカーソルを置いて選択することができます > 、または必須の前にあるチェックボックスを選択しますJourneyをクリックし、**[フォルダに移動]** をクリックします。
 - b. 複数のジャーニーを移動するには、必要なジャーニーの前にあるチェックボックスを選択し、**[フォルダーに移動]** をクリックします。
2. 必要な宛先フォルダーを選択し、**[ここに移動]** をクリックします。

Journeyをエクスポートする

Journey#####Journey#####Journey#####
#####

Journey#####

必要なJourneyにカーソルを合わせて >
crcファイルとzipファイルがダウンロードされます。

Journey#####Journey#####[unique_27_Connect_42_ul_sdk_jcq_2mb \(on page 34\)](#)#####[Journey \(on page 35\)](#)

ジャーニーの削除

Journey#####Journey#####

#####[Journey \(on page 35\)](#)#####

Journey#####

次のいずれかの方法を使用します。

- a. Journeyを削除するには、カーソルを必要なJourneyそして選択 > 、または必須の前にあるチェックボックスを選択しますJourneyをクリックして **[削除]** をクリックします。
- b. 複数のジャーニーを削除するには、必要なジャーニーの前にあるチェックボックスを選択し、**[削除]** をクリックします。

複製Journey


```
#####Journey###Journey#####Journey##### (#####
##)#####
```

```
Journey#####
```

1. Journeyリストページには次のいずれかのタブを選択します。:
 - **公開済み**
 - **ドラフト**
 - **一時停止**
 - **完了**
2. そして必要なJourney選択します > .
 - DuplicateJourney** ダイアログが表示されます。
3. 適切な名前を付けて、**[保存]** をクリックします。

Journey設定または重複排除

```
Unica Journey#####REST#Kafka#Unica Campaign#Unica Interact#Unica Discover #####
##### Journey#####Unica Campaign Kafka #####
#####Journey.#####REST ##### Journey.Journey#####
#####
#####
#####
```

1. Journeyのために、Journeyキャンバス画面で、**[その他のアクション >] [設定]** をクリックします。
[ジャーニー設定] ページが表示されます。
2.  **CAUTION:** 一度選択したオプションを変更することはできません。Journeyが公開されています。

以下のいずれかのオプションを選択します。

- **連絡先の重複を許可** - 連絡先の重複を許可する場合は、このオプションを選択します。これはデフォルト設定です。

```
#: ##### ID john.doe@example.com##### ID #####
```

- **連絡先の重複を許可しない** - 連絡先の重複を許可しない場合は、このオプションを選択します。

- a. **[フィールドの選択]** オプションで、前述の必須フィールドを選択します。[データ定義 \(on page 14\)](#) 重複する連絡先を認識するための ID を指定します。をクリックして余分なフィールドを追加します。をクリックして追加されたフィールドを削除します。**フィールドの選択**の詳細については、[データ定義 \(on page 14\)](#)を参照してください。
- b. 重複する連絡先に対する次のアクションのいずれかを選択します。
 - **連絡先を破棄** - 新しい重複が見つかった場合は破棄します。たとえば、電子メール ID john.doe@example.comが既に存在する場合、エントりに同じ電子メール ID が含まれている場合、新しいエント리는破棄されます。
 - **既存の連絡先を更新** - 既存の連絡先を新しく見つかった重複で更新します。たとえば、レコードに名前、住所、電子メール ID、および性別があり、電子メール ID が重要なフィールドで、性別がオプションフィールドである場合、性別に値を追加してレコードを更新すると、システムは電子メールがID は同じですが、性別フィールドの値が以前に存在しなかったため、システムは既存の連絡先を更新します。
- c. **[保存して閉じる]** をクリックします。

Journey目標


```
Journey#####Journey ###/Goal#####/#####
##Journey #####/#####:Draft#####Paused###
###Published#####/#####SMS#####
#####
```


- メール用 - メール送信、メール開封、リンククリックのイベントをサポートします。
- SMS用 - SMS送信、SMS配信のイベントに対応。



Note: V12.1 Fixpack3以降では、1つのJourneyに複数のゴール（最大15ゴール）を追加することができます。また、売上に応じた目標を設定することも可能です。

<p>日付ベースの目標</p>	<p>日付ベースの目標では、目標日が達成されると、Journey が完了と表示されます。日付ベースの目標を設定するために、Journey で設定した最大遅延を計算するための特定の検証が提供され、マーケティング担当者は設定した最大遅延より大きい目標日を設定することができます。一度目標として目標日が設定されると、ユーザーは目標日を減らすことはできません。ユーザーは目標日を増やすことしかできません。ユーザーは、任意の時点で日付ベースの目標をリセットし、新しい目標を追加することができます。</p>
-----------------	--

	 Note: 1つのJourneyには、日付ベースの目標を1つだけ追加することができます。
コンタクト / 回答ベースの目標	<p>コンタクト/レスポンスベースの目標を追加するには、タッチポイントを設定し、ジャーニーに保存する必要があります。頻度がオフの場合、「MarkJourney目標が達成されたときに完了した場合」チェックボックスが使用できます。チェックボックスをオンにすると、タッチポイントとそのイベントでコンタクト/レスポンスベースに基づく目標が達成されると、Journey、「Complete (完了)」とマークされます。</p> <p>#####MarkJourney ##### ##### ##### ##### #####</p>
売上ベースの目標	<p>売上ベースの目標を追加するには、CRM/Salesforceのタッチポイントを設定し、Journeyに保存しておく必要があります。売上ベースの目標は、リードの目標を設定することで作成されます。頻度がオフの場合は、「MarkJourney 目標が達成されたときに完了した場合」チェックボックスが利用できます。チェックボックスをオンにすると、タッチポイントとそのイベントの売上目標が達成されると、Journey、「Complete (完了)」とマークされます。売上ベースの目標のトラッキングパラメータは、選択オブジェクトがリードまたはコンタクト、アクションが作成または更新のいずれかになる以外は、日付ベースおよびコンタクト/レスポンスベースの目標と同じです。</p> <p>#####MarkJourney ##### ##### ##### #####</p>

 **Note:** 日次、週次、月次、四半期別の目標頻度は、標準カレンダーに準ずるものとします。すべての計算は、Journey Timezoneの設定に従って行われます。


Journey #####/#####

Journey 目標を追加したり、Journey 目標を編集したりするには、次の手順を実行します。



Note: ゴールを追加する前に、Journey キャンバスにタッチポイントが設定されていることを確認します。

1. Journey の場合、Journey キャンバス画面で、「**Add/Edit Goal**」をクリックします。
Add/Edit Goalダイアログが表示されます。
2. 日付を基準に目標を設定するには、「**日付**」を選択し、次の手順を実行します。
 - a. **Goal Target Date**フィールドには、将来の日時を設定します。
日付ベースのゴールは、Journey 作成時に設定されたタイムゾーンに依存します。デフォルトでは、翌日の日付と時刻を表示します。
3. 回答した連絡先の数に基づいて目標を設定するには、「**連絡先の数**」を選択し、次の手順を実行します。

- a.  **Note:** タッチポイントの**選択**フィールドと**[イベントの選択]**フィールドに値を表示するには、タッチポイントを追加する必要があります。タッチポイントを追加しない場合、ドロップダウンには何も値がありません。

タッチポイントを選択し、対応するイベントを選択します。

- b. Deliverの場合、Link Clickedオプションを選択すると、入力したタッチポイントに関連するテンプレートに存在するすべてのリンクが、Select Linkフィールドのドロップダウンに表示されます。Linkの場合、このフィールドはテキストフィールドとして表示されます。電子メールタッチポイントでは、イベントフィールドドロップダウンでEmails_OpenとEmail_Sentのオプションが利用可能です。SMSタッチポイントでは、イベントフィールドドロップダウンにSMS_DeliverとSMS_Sentのオプションが用意されています。
- c. **ターゲット**フィールドに正の数値を追加する。Journey の目標が入力された値を満たすと、Journey が目標を達成したことを示す表示になります。Journey、継続することも、閉鎖することも可能です。
- d. 目標が達成された時点で、Journey を完了としてマークしたい場合は、チェックボックス**Mark Journey 目標が達成されたとき**に完了した場合を選択します。

複数の目標を見る

新しい目標を追加すると、ジャーニーの既存の目標のリストが表示されます。各目標には、画面左側に目標名が表示され、目標の種類、頻度、目標、達成度などの詳細が表示されます。画面右側には、ゴールトラッキングの詳細が表示されます。目標名をクリックすると、ドーナツグラフで目標達成状況を表示します。目標の進捗状況（目標達成度）に応じて、ドーナツチャートの色を変えて表示します。

- 100%-フルダークグリーン
- 75%以上 - ライトグリーン
- 50%以上 - 黄
- 25%以上 - オレンジ
- 25%以下 - 赤

目標の編集

ジャーニーのドラフト段階では、ゴール全体（ゴール名、ゴールタイプ、頻度、ゴールターゲット）を編集することができます。ジャーニーが [公開] または [一時停止] の状態では、[目標名] と [目標ターゲット] のみ編集できます。編集モードでは、日付ベースの目標について、ユーザーは既存の日付より大きい日付のみを選択できます。非頻度ベースの目標を編集する際、目標達成数が目標値以下の場合、目標達成時にジャーニーを完了としてマークするチェックボックスをオンにすると、目標達成数と目標値を同じにできないというエラーが表示される。目標値を上げる。



Note: 編集、一時停止、公開モードでは、頻度目標の場合は目標値の値を増減できますが、非頻度目標の場合は目標値の値を増加させることしかできません。



Note: V12.1 Fixpack 3以降では、Goalsの過去のパフォーマンスを見ることができ、またGoalsを編集することも可能です。データはジャーニー・タイムゾーン（TZ文字列）で記録されます。

Journey統計

Journey#Publish###Completed#####Journey#####.

Journey連絡先の統計

#####Journey#####.

分野	説明
連絡先	エントリソースごとの、承認または拒否されたJourneyコンタクトの数。 .
合計	Journeyによって承認または拒否されたすべてのエントリソースからのコンタクトの総数。 .

Journeyタッチポイントの統計

##Journey#####Journey#####Journey###

タッチポイント	提供される統計
メールアドレス	Journey電子メール タッチポイントに関する次の統計を提供します。 <ul style="list-style-type: none"> • 送信 • バウンスソフト • バウンス ハード • 開く

タッチポイント	提供される統計
	<ul style="list-style-type: none"> • リンククリック • エラー
SMS	JourneySMS タッチポイントに関する次の統計を提供します。 <ul style="list-style-type: none"> • 送信済 • 配信 • リンククリック • エラー
Salesforce	JourneySMS タッチポイントに関する次の統計を提供します。 <ul style="list-style-type: none"> • 成功 • 失敗
Whatsapp	JourneyWhatsappタッチポイントの次の統計を提供します <ul style="list-style-type: none"> • 送信済 • 配信 • エラー • 読む

Journeyジャーニー コントロールの統計

(#####) ##### (##/#####) #####
 #####
 #####

メールアイコンをクリックすると、さまざまなチャネル (Mailchimp と Mandrill) を介して送信されたメールの数が表示されます。



Note: カウントが 0 の場合、このリンクは無効にする必要があります。このページにはカスタムの並べ替えはありません。デフォルトでは、降順、応答の日時で並べ替えられます。ポップアップにはページネーションがあります。

#####

Decision Split ##### Engagement Split #####

- コントロールに入る連絡先の数を含むコールアウト。
- YESフローの連絡先の数を含むコールアウト。
- NOフローのコンタクト数を含むコールアウト。

Journeyステータス

Journey##### 4 #####

公開されたジャーニーを見る

#####

#####

1. 特定のフォルダーから公開されたジャーニーを表示するには、[フォルダー内のアーティファクトが表示されます \(on page 76\)](#) を参照してください。
2. リストページにカラムを追加または削除するには、[ジャーニーでリストされた列を追加または削除します \(on page 40\)](#) を参照してください。
3. 公開されているJourney を修正するには、[詳細の変更Journey \(on page 41\)](#) を参照してください。
4. 公開されたジャーニーをあるフォルダから別のフォルダに移動するには、[ジャーニーを別のフォルダーに移動する \(on page 42\)](#) を参照してください。



Note: Journeyが公開され、オーディエンスがJourneyに入り始めると、Journeyの各タッチポイントで、これらのオーディエンスの統計が表示されます。その間に、ユーザーが一時停止してジャーニーを更新し、ジャーニーの開始地点に新しいタッチポイントを追加して、再度パブリッシュする場合。そして、統計ビューのJourneyでは、新しく追加されたタッチポイントのカウントが追加された時点から表示され、ユーザーはこの最初のタッチポイント（スタートではない）と既存のタッチポイントを流れる異なるカウントを確認することができるのです。開始時および最初に追加されたタッチポイントのカウントは同じに表示されます。

Draft Journeysの表示されます

Draft Journeys ### #####

Draft Journeys ### #####

1. 特定のフォルダーからDraft Journeysを表示するには、[次フォルダー内のアーティファクトが表示されます \(on page 76\)](#) を参照してください。
2. 一覧ページに列を追加または削除するには、[次ジャーニーでリストされた列を追加または削除します \(on page 40\)](#) を参照してください。
3. 下書きを修正するにはJourney、[詳細の変更Journey \(on page 41\)](#) を見てください。
4. Draft Journeysをあるフォルダーから別のフォルダーに移動するには、[ジャーニーを別のフォルダーに移動する \(on page 42\)](#)以下を参照してください。
5. Draft Journeysを削除するには、[以下ジャーニーの削除 \(on page 42\)](#)を参照してください。

Paused Journeysを表示する

Paused Journeys#####

Paused Journeys #####

1. 特定のフォルダーからPaused Journeysを表示するには、次フォルダー内のアーティファクトが表示されます (on page 76)を参照してください。 .
2. 一覧ページに列を追加または削除するには、次ジャーニーでリストされた列を追加または削除します (on page 40)を参照してください。 .
3. 一時停止を変更するにはJourney、[詳細の変更Journey \(on page 41\)](#)を見てください。
4. Paused Journeysをあるフォルダーから別のフォルダーに移動するには、次ジャーニーを別のフォルダーに移動する (on page 42)を参照してください。 .

完了したジャーニーの表示します

#####

#####

1. 特定のフォルダーから完了したジャーニーを表示するには、次フォルダー内のアーティファクトが表示されます (on page 76)を参照してください。 .
2. 一覧ページに列を追加または削除するには、次ジャーニーでリストされた列を追加または削除します (on page 40)を参照してください。 .
3. 完成品を修正するにはJourney、[詳細の変更Journey \(on page 41\)](#)を見てください。
4. 完了したジャーニーをあるフォルダーから別のフォルダーに移動するには、次ジャーニーを別のフォルダーに移動する (on page 42)を参照してください。 .

レポート

#####/#####



Note: V12.1 Fixpack 3以降では、レポートページにアクセスし、Journeyの分析を行うことができます。

##

#####

#####

##

メールのタッチポイントにカーソルを合わせると、送信数、ソフトバウンス数、ハードバウンス数、開封数、リンククリック数、エラー数を確認することができます。



Note: 電子メールのタッチポイントにマウスを置いたときに表示される電子メールリンクのクリック数が、パフォーマンスタブに表示される電子メールリンクのクリック数と異なっている。マウスホバー時に表示さ



れるカウントはAudienceの総カウント数ですが、パフォーマンスタブでは実際のメールリンククリックカウントが表示されます。

SMSのタッチポイントにカーソルを合わせると、SMSの総送信数、配信数、リンククリック数、エラー数を知ることができます。カウントをクリックすると、そのカウントの詳細を表示するポップアップが表示されます。このポップアップは、Adtechタッチポイントでは表示されません。

```
Rest API#####Sent and Success
count#####SentandSuccess#####E#####DOC#####
#####E#####
#DOC#####
```

#####

パフォーマンスタブをクリックすると、メールパフォーマンスとSMSパフォーマンスが表示されます。



Note: 性能評価のため、データはジャーニー・タイムゾーン（TZ文字列）で記録される

```
#####
```

- **配信** あらゆるタッチポイントで送信されたメールの総数と、配信に成功したメールの数を表示します。
 - 配信タイルをクリックすると、「メールパフォーマンス - 合計配信数」ポップアップが表示されます。ポップアップには、Touchpoint、Template名、Channel、Sent、Deliveredの情報が表示されます。



Note: Deliverの場合、テンプレート名はすべてのチャンネルに表示されますが、Linkの場合、テンプレート名はMandrillで送信されるメールにのみ表示されます。

- **開封数** タッチポイントで送信されたメールの総数と、ユニーク開封数を表示します。これは、メールを開封した人の総数を意味しますが、メールを複数回開封した場合でも、1人1回しかカウントされません。
 - 開封数] タイルをクリックすると、「メールパフォーマンス - ユニーク開封数」ポップアップが表示されます。ポップアップには、「Touchpoint」「テンプレート名」「Channel」「Opens」の情報が表示されます。
- **クリック数** 各タッチポイントで送信されたメールの総数、およびユニーククリック数を表示します。
 - Clicksタイルをクリックすると、Email performance - Unique Clicksのポップアップが表示されます。ポップアップには、「Touchpoint」「テンプレート名」「Channel」「Link」「Clicks」の情報が表示されます。

```
#####
```

- **平均統合時間** メールの開封とクリックの時間を記録することで、平均統合時間を表示します。

SMSのパフォーマンス ジャーニーでのSMSのパフォーマンスを確認する。このセクションでは、送信および配信されたSMSの全体的なパフォーマンスに関する情報を提供します。

- **配信**- あらゆるタッチポイントで送信されたSMSの総数と、配信に成功したSMSの数を表示します。

#####- ##### (on page 54)

#####- ##### (on page 54)

##- ##### (on page 54)

#####- #####

- 詳細の表示 / 編集- 「[ジャーニーの表示 / 編集](#)」 (32 ページ (on page 34)) を参照してください。
- 設定- [ジャーニーの設定](#) (43 ページ (on page 43)) をご参照ください。
- ジャーニーを完了としてマークする- 「[ジャーニーを完了としてマークする](#) (36 ページ) (on page 37)」 を参照。
- 複製- 「[ジャーニーを複製する](#)」 (33 ページ (on page 34)) を参照してください。

##- #####

#####/##- #####/## (45###) (on page 46)#####

#####35### (on page 36)#####

##

Goals#####Goals#####
#####

画面右側にあるドロップダウンで目標を選択すると、それぞれの進捗状況グラフが表示されます。デフォルトでは、一番上のゴールが選択されます。

- 毎日
- 毎週
- 毎月
- 四半期

から期間と頻度を選択でき、選択した頻度に基づいて、目標の進捗状況をグラフ表示します。デフォルトでは、月次が選択されています。



Note: 日次、週次、月次、四半期目標のデータは、ジャーニーのタイムゾーン (TZ文字列) で記録されません。

というように、目標の種類に応じてグラフ / チャートが表示されます。

- 日付ベースの目標 - ドーナツチャート
- 頻度ベースの目標 - バーチャート
- 非頻度目標 - 折れ線グラフ



Note: このグラフは、ユーザーがジャーニーで目標を作成または定義している場合にのみ表示されます。

Audiences

Audiencesタブをクリックすると、ジャーニーに参加した観客の総数が表示されます。グラフは、各エントリーソースからの総受講者数および受講者数を表示します。Select sourceドロップダウンから入力ソースを選択することができます。デフォルトでは、すべてのエントリーソースが選択されています。画面右上には、最後に生成された日付と時刻が表示されます。また、期間と頻度を選択すると、それに応じてオーディエンスグラフが表示されます。デフォルトでは、月次が選択されています。



Note: データはジャーニー・タイムゾーン (TZ文字列) で記録されます。

#####- ##### (on page 54)

エクスポートレポート- 参照共通機能キー (on page 54)



Note: Audiences画面に表示されるY軸の範囲は、Exportレポートに表示される範囲と異なる場合があります。

##- ##### (on page 54)

#####- #####

- 詳細の表示 / 編集- 「[ジャーニーの表示 / 編集](#)」 (32 ページ (on page 34)) を参照してください。
- 設定- [ジャーニーの設定](#) (43ページ (on page 43)) をご参照ください。
- ジャーニーを完了としてマークする- 「[ジャーニーを完了としてマークする](#) (36ページ) (on page 37)」を参照。
- 複製- 「[ジャーニーを複製する](#)」 (33 ページ (on page 34)) を参照してください。

##- #####

#####/##- #####/## (45###) (on page 46)#####

#####35### (on page 36)#####

#####

V12.1 Fixpack 4#####Milestones#####

#####2#####

#####

DDHHMM###

達成したマイルストーンに基づき、ファネルチャートは異なる色で表示されます。

- 100%-フルダークグリーン
- 75%以上 - ライトグリーン
- 50%以上 - 黄
- 25%以上 - オレンジ
- 25%以下 - 赤



Note: マイルストーングラフは、ユーザーがジャーニーにマイルストーンを定義している場合のみ利用できます。マイルストーンは、追加された順番に表示されます。

####-##### 12.1.0.3 ## 12.1.0.4 ##### 0 #####Journey#####
#####

#####-#####

#####-##### (on page 54)

#####-##### (on page 54)

#####-#####

- 詳細の表示 / 編集- 「[ジャーニーの表示 / 編集](#)」 (32 ページ (on page 34))を参照してください。
- 設定-[ジャーニーの設定](#) (43ページ (on page 43)) をご参照ください。
- ジャーニーを完了としてマークする- 「[ジャーニーを完了としてマークする](#) (36ページ) (on page 37)」を参照。
- 複製- 「[ジャーニーを複製する](#)」 (33 ページ (on page 34)) を参照してください。

##-#####

#####/##-#####/## (45###) (on page 46)#####

#####35#### (on page 36)#####

共通機能キー

Refresh- Refresh#####

Export Report- #####Journey#####PDF#####Export Report#####Published
Journey#Completed Journey#####Journey#####
#####

期間-これをクリックして、パフォーマンスレポートを表示する期間を選択します。デフォルトでは「現在/今月」が選択されていますが、以下のオプションから任意の時間枠を選択することができます。

- 過去 7 日間
- 過去 30 日間
- 現在・今月

- 過去 1 カ月
- 過去 3 カ月
- 過去 6 カ月
- 過去 1 年
- 今年度
- すべての時間
- カスタム日付範囲

Chapter 6. Journeyチェーンング

Unica Journey#####1 #####
#####

###Journey#####Journey#####Unica Journey#####
#####Journeys ##### ##

1#####Journey#####

Chapter 7. ジャーニーテンプレート

```
#####Journey#####ID#####  
#####
```

```
###Journey##### > #####
```

```
#####Journey##### > #####Create Journey from this  
template?#####Journey canvas#####
```



Note: ジャーニーテンプレートを編集することはできません。テンプレートを変更する場合、ユーザーは新しいJourneyを作成し、更新してテンプレートとして保存する必要があります。Create templateには、ユーザーのロールやパーミッションは添付されません。テンプレートは、ある環境から別の環境へコピーすることはできませんので、ユーザーはJourneyのインポート/エクスポート機能を使用して同じことを行うことができます。ジャーニーゴール、ジャーニーマイルストーンは、テンプレートに関連づけられず、テンプレートに保存されません。



Note: 現在、UI上では、テンプレートに関連するフォルダ構造を持たないようにしています。Journeyと同じフォルダーにテンプレートを置いています。同じ名前のテンプレートでも、異なるテンプレートIDを持つテンプレートが存在する場合があります。テンプレートは、データ定義の詳細とともに保存されます。ジャーニーに関連付けられたエントリーソースは、テンプレートと共に保存されないという問題がありました。旅先の設定は、テンプレートに保存されます。

Chapter 8. ジャーニーとの統合を提案

Centralized Offer Management#COM####Journey#####COM#####Unica Journey#####
#####

Unica Deliver#####Deliver Email#####Deliver Email#####
##Email Deliver#####Unica Journey#####
#####

Journey#####

- Deliver・オファー・インテグレーション
- リンク・オファー統合
- インターアクト・ネクスト・ベスト・オファー (NBO)

###Journey##Journey#####CH/RH#####

Deliver・オファー・インテグレーション

#####Centralized Offer Management #####Deliver #####

前提条件

- Centralized Offer Management (COM) でオファーを作成する
- Unica DeliverでOfferを使ったメールコミュニケーションを作成します。
- Unica Deliverを使用して設定したメールタッチポイントごとに、オファー付きのメールコミュニケーションを作成します。Unica DeliverのOfferを使用したUnicaメールコミュニケーションの作成についての詳細は、*Unica Deliver*ユーザーガイドを参照してください。

Deliverで電子メールのタッチポイントを設定するには、次の手順を実行します。

1. **メール設定** ダイアログで、「**Deliver**」を選択します。
2. 「**次へ**」をクリックします。
3. **テンプレート選択**ダイアログが表示されます。
4. オffer設定-必要なメールコミュニケーションを選択します。複数のメールコミュニケーションがある場合は、検索バーを使って必要なメールコミュニケーションを探します。オfferが関連付けられたメールコミュニケーションは、そのメールコミュニケーションに設定されたオfferの数とともに、画面の右側に表示されます。例: 1つのオfferが電子メール通信に関連付けられている場合、1つのオfferが表示されます。ユーザーがオfferにマウスを合わせると、オfferコードと有効期限の詳細が表示されます。ユーザーがオfferをクリックすると、オfferの詳細画面が表示されます。



Note: Unica Deliverでは、一度メールタッチポイントを設定するためにテンプレートを選択すると、他のメールタッチポイントを設定するために利用することができなくなります。Unica JourneyとDeliver offerの統合で、同じオfferが同じまたは異なるコンテンツに割り当てられている場合の



Deliver emailテンプレートはサポートされていません。ユーザーは、Journeyオファ어의統合のために、Deliverメールテンプレートに1回だけオファ어를割り当てる必要があります。

5. 「次へ」をクリックします。
6. **マッピングダイアログ**が表示されます。
7. Journey作成時にJourneyに関連付けられたデータ定義から得られる) 適切なJourneyフィールドにDeliverフィールドをマッピングします。マッピングによって実行時に値が変更されるため、これは不可欠です。マッピングにより、電子メールのパーソナライズが実現します。Deliverでは、DeliverのFirstNameをJourneyのfnameに、LastNameをlnameにマッピングすると、メール内の敬語がフィールドの値にパーソナライズされます。
8. 「保存」をクリックします。

留意点

- オファ어가割り当てられたメールテンプレートがJourneyに関連づけられると、Journeyはそれらのオファ어를取得し、メールから受け取ったレスポンスはコンタクトとレスポンス履歴に記録されます。
- ユーザーは、フローチャートの実行日や有効期限ではなく、固定日付で提供されるオファ어・テンプレートを使用する必要があります。
- Unica Journeyは、オファ어를評価し、コミュニケーションチャンネルに送信する際、有効期限と期限を守りません。ユーザーは、期限切れのオファ어를手動で削除し、有効なオファ어를割り当てる必要があります。
- 対応するJourneyのパーティション設定が保存されていない場合、関連するオファ어に対してコンタクト履歴とレスポンス履歴 (CH/RH) は取得されません。Journeyパーティションを保存しないで進むと、「Journey用のパーティション設定が保存されていません」という警告メッセージが表示されます。応答履歴やコンタクト履歴 (CH/RH) を保存するには、旅先でのパーティション設定を保存することが重要です。設定メニューから設定を保存することができます。
- Journeyでは、可視性ルールを持つオファ어属性がDeliverメールテンプレートに割り当てられている場合、Journeyは可視性ルールを持つオファ어의CH/RHのトラッキングをサポートしません。
- Deliverされたコミュニケーションが、オファ어가関連付けられたタッチポイントに関連付けられ、パブリッシングJourney後にこのタッチポイントから移動するオーディエンスがほとんどいないシナリオを考えてみましょう。この場合、CH/RHの消失につながるため、タッチポイントを編集しないことを推奨します。
- Journeyは、PublishedおよびPaused Journeyの既存のメールテンプレートでオファ어를更新することはサポートしていません。ユーザーは、新しいメールテンプレートを作成し、オファ어를関連付け、新しいメールタッチポイントに割り当てる必要があります。
- Journeyが公開済みで一時停止中の場合、同じメールタッチポイントでのDeliverテンプレートの変更はサポートされません。Journeyがドラフト状態で、ユーザーがメールテンプレートのオファ어를変更したい場合、ユーザーはタッチポイントを削除して、新しいタッチポイントに新しいオファ어テンプレートを割り当てる必要があります。
- オファ어가割り当てられたメールテンプレートがJourneyに関連付けられると、Journeyはそれらのオファ어를取得し、メールから受け取ったレスポンスはUnica Campaignのコンタクトとレスポンス履歴データベーステーブルに取り込まれます。

- JourneyのタッチポイントにDeliver email-communicationを関連付けた後、Deliver側のオファー属性に何らかの変更があった場合、Journeyには反映されません。Deliver-オファーとJourneyの関連付けはRead Onlyです。データ定義フィールド画面では、オファーアトリビュートマッピングはサポートされていません。
- Journeyでは、Deliverでバッチ処理でサポートされているオファー機能のすべてをサポートしていません。Journey-Deliverでサポートするオファーのためのシンプルなバニラもの。
- Journeyは、ユーザーがDeliverメール内でクリックしたリンクのクリック数とLinkurlを追跡します。これらのリンクは、Journeyのエンゲージメント・スプリットで使用することができ、また、目標の進捗を確認するために使用することができます。オファーとは異なり、クリックスルー・リンクは、レスポンス・トラッキングの目的でのみJourneyによって捕捉されます。これらのオファーのクリックスルーURLは、Journeyのエンゲージメント・スプリットやJourneyのゴール計算には使用できません。OfferのDeliverメールで利用できるリンクは、リンククリックイベントのEngagement splitページおよびGoalsページには表示されません。目標の履歴ページで、リンククリックの頻度が低い目標の場合、リンクドロップダウンにオファーリンクのURLが表示されなくなります。非頻度ベースのリンククリック目標の場合、オファーリンクのDeliver「リンククリック」数は、総リンククリック数の一部として加算されます。
- Journey Deliverオファー統合はオファー属性値の変更をサポートしていません。このオファーが使用中の場合、変更されたオファー属性値はJourneyで使用できません。
- Journeyでは、重複した記録を許可しています。視聴者がJourneyのメールタッチポイントに入るたびに、オファーが表示されます。このオファーは、キャンペーンの連絡先履歴テーブルで連絡先として報告されます。同じ視聴者IDが同じメールタッチポイントに再入力すると、その視聴者IDにもう一度同じオファーが提示されます。この重複するコンタクトがキャンペーンに投稿されると、「**同じ顧客の同じオファーに対するコンタクトはすでに報告されている**」という条件で、重複するコンタクトレコードが破棄されます。Journeyが重複したレコードをJourneyに入力させる場合、初回のみ提示されるオファー（コンタクト）が捕捉されます。同じ視聴者IDの同じオファーに対する後続のコンタクトは破棄されます。ユーザーが同じオーディエンスを複数回処理することを望まない場合は、ジャーニー設定で**[重複する連絡先を許可しない]**ラジオボタンを選択することをお勧めします。ユーザーが同じJourneyで同じオーディエンスを複数回プッシュした場合、最初のコンタクトのみが記録されます。同じ視聴者IDの同じオファーに対する後続のコンタクトは破棄されます。
- Deliver側でオファー統合のために、Centralized Offer Managementのすべての属性がサポートされているわけではありません。

#####Deliver#####Journey#####

◦ 標準属性

- 平均レスポンス収入
- チャンネル
- チャンネルタイプ
- オファー当たりのコスト
- クリエイティブ URL
- 有効期限と有効期間
- フルフィルメントコスト
- インタラクションポイントID
- インタラクションポイント名
- オファー固定コスト

◦ カスタムアトリビュート

- テキストフィールド - 文字列
- テキストフィールド - 数値
- テキストフィールド - 日付
- テキストフィールド - 通貨
- セレクトボックス - 文字列

Deliver メールコミュニケーションが設定されている場合、以下のオファー属性はサポートされません。

- Boolean
 - Integer
 - URL
 - リッチ・テキスト
 - セレクトボックス-データベース
- Journey-Deliverのオファー統合によってコンタクト/レスポンス履歴がすでに入力されているオファーをユーザーが削除しようとした場合、そのオファーは削除時にCOMで引退させられます。今後、ユーザーが新しいオーディエンスをプッシュした場合、オファーがリタイア状態であっても、そのオーディエンスに対してコンタクト/レスポンス履歴が生成されます。
 - ユーザーがオファーを使ってDeliverタッチポイントを設定しても、Journeyがまだドラフト状態（未公開）の場合、ユーザーはCOMからこのオファーを削除することができます。その後、ユーザーはJourneyを公開することができます。対象者にメールは送信されますが、キャンペーンに応答履歴は生成されません。
 - Journey Deliverオファー統合は、COMオファーのバリエーションとテンプレートなしのオファーをサポートしていません。
 - Journey Deliverオファー統合では、JourneyはOfferUrlとOfferstaticAttributejson情報を取得しないため、これらの列はJourneyデータベースのoffermetadataテーブルにNullとして表示されます。JourneyはCOMの静的属性をサポートしていません。
 - ユーザーがオファーコードとオファーの有効期限をツールチップに表示できない場合、プラットフォームでトークンの有効期限を延長する必要があります（有効期限は **Platform > 設定方法 > 設定方法 > 一般設定 > その他 > トークンの有効期限**）。トークンの有効期限を延長した後、プラットフォームとOfferアプリケーションを再起動します。

リンク・オファー統合

```
#####Centralized Offer Management#####
```

```
#####Unica Journey#####
```

リンク接続にUnica JourneyのCentralized Offers Management（COM）を使用する場合、以下のようにUnica Marketing Platformのコンフィギュレーションを設定する必要があります。

1. Marketing Platformの設定で、トークンの有効期限を10800秒（3時間）に延長する必要があります。

```
###'##### (Affinium|Manager|###)
```

#####10800###

2. 以下の設定により、1回限りのトークンを使用するためのプラットフォームフラグを無効にすることができません。

API##### (Affinium|suite|security|apiSecurity)

#####API##### - ##

1##### - ##

3. Platformでは、キャンペーン管理、オファー集中管理ともに、上記の設定は無効にしてください。

#####

1. **電子メール設定**ダイアログで、「**リンク**
2. オfferを追加する]-**[このタッチポイント (テンプレート) にオfferを関連付ける]** チェックボックスをオンにし、電子メールに関連付けられたオfferを表示します。
3. **[オfferの選択]**をクリックします。



Note: 対応するジャーニーのパーティション設定が保存されていない場合、関連するオfferに対してコンタクト履歴とレスポンス履歴 (CH/RH) が取得されず、オプションの **[オfferを選択]** が無効になります。パーティション設定が保存されると、**[オfferの選択]** オプションが有効になります。

4. Centralized Offer Management からの**オffer画面**が表示されます。ユーザーは、表示されたオfferリストから1つまたは複数のオfferを選択するか、オfferをダブルクリックしてオfferバリエーションから選択することができます。
5. **[オfferの選択]**をクリックします。
6. **オffer応答マッピング**ページが表示されます。すべてのオfferにリンクURLを関連付ける。URLが提供されない場合、CH/RHの履歴は失われます。この画面で、オfferレスポンスの追跡に必要なURLを入力します (前提条件: 使用するメールテンプレートにリンクがあること)
7. **完了**をクリックします。

留意点

- バージョン12.1.1より前に作成されたジャーニーでは、既存の電子メールタッチポイントをリンクオfferに関連付けることはできません。
- ユーザーは、フローチャートの実行日や有効期限ではなく、固定日付で提供されるオffer・テンプレートを使用する必要があります。
- Unica Journeyは、オfferを評価し、コミュニケーションチャンネルに送信する際、有効期限と期限を守りません。ユーザーは、期限切れのオfferを手動で削除し、有効なオfferを割り当てる必要があります。

- リンクMailchimpコネクターでオファー統合を行った場合、最初のリンククリックに対して2つのレスポンスが返ってることがあります。メールクライアントの挙動、リンククリックの処理方法に基づいて、メールchimpはリンククリックイベントを重複して受信する可能性があります。
- ジャーニーでは、視認性ルールを持つオファー属性がリンクタッチポイントに割り当てられると、ジャーニーは視認性ルールを持つオファーのCH/RHのトラッキングをサポートしません。オファーの可視化ルールに関係なく、すべてのオファー属性がリンクフィールドマッピングのドロップダウンに表示されます。
- Link側でオファー統合のためにサポートされているCentralized Offer Management属性のすべてがサポートされているわけではありません。Link側で対応していない属性は、オファー統合後、反映されません。Linkは以下の属性をサポートしています。
 - integer
 - date
 - boolean
 - チャンネルタイプ
 - string

インターアクト・ネクスト・ベスト・オファー (NBO)

#####

Interact NBOで電子メールのタッチポイントを設定するには、次の手順を実行します。

1. **電子メール設定**ダイアログで、「**リンク**
2. オファーを追加する]-[**このタッチポイント (テンプレート) にオファーを関連付ける**] チェックボックスをオンにすると、電子メールにオファーを関連付けることができます。
3. **Next Best Offer**をクリックします。



Note: パーティション設定がJourneyに保存されていない場合でも、NBOボタンが有効になります。インターアクトがインストールされていない場合、NBOボタンは無効のままです。

4. **Next Best Offer ページ**が表示されます。
5. 以下のフィールドに適切な値を入力してください。
 - **インタラクティブチャンネル**-これは必須項目である。Interact Runtime にデプロイされたInteractive チャンネルを選択します。ユーザーが配置されたインタラクティブチャンネルを選択しない場合、テスト接続は機能しません。



Note: 特定の状況において、インタラクティブチャンネル (ジャーニーで選択され、公開状態になっている) がインターアクトランタイムからアップデプロイされると、ジャーニーはインターアクトからオーディエンスに対するオファーを受信できず、エラー状態のトランザクションが表示されます。オーディエンスはメールを送信することなく、次のタッチポイントに移動します。

- 視聴者レベル - 必須項目
- インタラクションポイント - 必須項目
- イベント選択 - 必須項目 (コンタクトアクションに関連するイベントのみが選択可能です)。
- Interact Runtime URL - 必須フィールド (一度にマッピングできるランタイムURLは1つだけです)。
- Interactプロファイルフィールドのマッピング-InteractフィールドをJourneyフィールドにマップします。

◦ #####



Note:

- a. ユーザーがインタラクティブチャンネルと視聴者レベルを選択すると、ユーザーだけがマッピング用のインタラクティブプロファイルテーブルフィールドを取得します。Interactのプロファイルテーブルのフィールドは、Journeyのオーディエンス (データ定義) フィールドとマッピングできるため、Journeyが公開されると、オーディエンスの情報はstartSession APIコールとしてInteractランタイムに渡されます。例えば、データ定義フィールドの文字列データ型は、インターアクトプロファイルテーブルの数値フィールドにマッピングしてはならず、その逆もまた然りです。
- b. 現在、インターアクト・ネクスト・ベスト・オファー統合は、partition1のみ対応しています。
- c. Interactで設定したStatic/Strategic SegmentはNBOで動作しません。

コンタクト履歴/レスポンス履歴のトラッキング

```
#####CH/RH###Campaign#####CH#####
#####CH/RH#####Campaign###
#####
```

```
Journey#####Deliver#####Interact#####
#####Campaign#####Campaign###
#####Campaign#Journey#####
```

```
####Campaign#####Campaign web#####
#####
```

```
#####Kafka####- UNICA_CH_RH#####Campaign#####
#####Campaign#####Campaign#kafka#####
#####kafka#####kafka#####UNICA_CH_RH#####
```

```
Campaign#####kafka#####kafka#####
#####
```

```
kafka-consumer-groups.sh -bootstrap-server <kafka_host>:<port> --describe -group Campaign
```


Chapter 9. 設定

#####JourneyE### #####SMS #####CRM ###REST #####

デフォルトの電子メール接続の設定する

#####Unica Link#####[##] #####

#####

1. > **Link** > **電子メール**を選択する。
[電子メール]ページが表示されます。
2. [使用可能な接続] リストから、接続を選択します。
利用可能な接続には、Mandril、Mailchimp などが含まれます。
3. [保存] をクリックします。
既存の接続を選択解除して、[保存] をクリックすることもできます。これにより、デフォルトの接続が設定されていないことが保証されます。

デフォルトの SMS 接続の設定する

#####Unica LinkSMS #####[##] ##### SMS #####

SMS

1. > **Link** > **SMS**を選択する。
SMSページが表示されます。
2. [使用可能な接続] リストから、接続を選択します。



Note:

#####Journey#####
Twilio #####Journey#####

- <プラス記号><国コード><10桁の電話番号> - +15403241212 .
- <プラス記号> <国コード <(市外局番)> <3桁の数字><4桁の数字> - +1 (540) 324 1212 .
- <プラス記号><国コード><市外局番><3桁の数字><4桁の数字> - +1-540-324-1212 .
- <プラス記号> <国コード><市外局番><3桁の数字><4桁の数字> - +1 540-324-1212 .

#####Unica Journey#####: <plus sign><country-code><10-digit phone number> #####+1 540-324-1212#####Unica Journey#####+15403241212#####

デフォルトの SMS 接続として Twilio を選択すると、次の形式の電話番号のみが受け入れられます: <plus sign><country-code><10-digit phone number>。たとえば、 +15403241212 です。

3. [保存] をクリックします。

デフォルトの CRM 接続の設定

CRM #####[##] ##### CRM

CRM

1. > **Link > CRM** を選択する。
CRMページが表示されます。
2. **[使用可能な接続]** リストから、接続を選択します。
3. **[保存]** をクリックします。

デフォルトの ADTECH 接続の設定

ADTECH #####[##]

#####

1. > **Link > ADTECH** を選択する。
ADTECHページが表示されます。
2. **[使用可能な接続]** リストから、接続を選択します。
利用可能な接続には、Mailchimp、Twilio、および Salesforce が含まれます。
3. **[保存]** をクリックします。
既存の接続を選択解除して、**[保存]** をクリックすることもできます。これにより、デフォルトの接続が設定されていないことが保証されます。

LinkedInのデフォルト接続を設定する

LinkedIn#####

LinkedIn#####

1. 選択する > **Link > 接続を管理し**、**[新しい接続]** ボタンをクリックします。
2. **新しい接続の作成** で、任意の名前を追加して、**「次へ」** ボタンをクリックします。
3. **接続タイプ** の種類を LinkedIn Ads に選択し、**[次へ]** ボタンをクリックします。
4. **接続のプロパティ** ページで、**「コードを取得」** ボタンをクリックすると、LinkedIn のログインページに移動し、LinkedIn の A/C ユーザー ID とパスワードを追加します。
5. ログインに成功したら、LinkedIn ブラウザの URL をコピーして、新規接続の作成ページのテキストフィールド **Redirect Url response** に貼り付けてください。
6. **Get Token** ボタンをクリックし、**Test** をクリックし、Test 接続が成功したら、**Save** ボタンをクリックします。



Note: LinkedIn の回答が変更され、設定された LinkedIn のタッチポイントで次の回答が利用できるようになります。オーディエンスサイズ、マッチング数、オーディエンスステータス。ユニカリンクはこれらのレスポンスをジャーニーに送信し、リンクのレスポンスに応じて、オーディエンスサイズ、マッチング数、オーディエンスステータスを LinkedIn タッチポイントで確認することができます。

デフォルトのデータベース接続の設定

#####[##]#####

#####

1. > **Link** > **データベース**を選択します。
データベースページが表示されます。
2. **[使用可能な接続]** リストから、接続を選択します。
3. **[保存]** をクリックします。
既存の接続を選択解除して、**[保存]** をクリックすることもできます。これにより、デフォルトの接続が設定されていないことが保証されます。

接続を管理する

#####Unica Link#####

Unica Link Mailchimp#Mandrill#Salesforce#Twilio ##### [Existing Connections (n)] ##
#####, #####n#####

1. Mailchimp 接続を作成するには、次の手順を実行します。
 - a. > **Link** > **接続の管理** > **新規作成**を選択する。
[新しい接続の作成] ページが表示されます。
 - b. 次のフィールドに値を入力します。
 - ・ **名前**-必須
 - ・ **説明**-オプション
 - c. **[次]** をクリックします。
 - d. **[接続の選択]** パネルから、**[Mailchimp]** を選択します。
 - e. **[接続プロパティ]** パネルで、次の必須フィールドに値を指定します。



Note: 入力するフィールドと値については、*Unica LinkMailchimp* ユーザー ガイドを参照してください。 .

- ・ ベース URL
- ・ ユーザー ID
- ・ API キー
- ・ アクティビティのフェッチ頻度
- ・ アクティビティ フェッチ ユニット

- f. **[テスト]** をクリックして、接続をテストします。指定された値が正しい場合は、成功メッセージが表示されます。指定した値が正しくない場合は、エラー メッセージが表示されます。

- g. 接続を保存するには、**[保存]** をクリックします。
新しい接続が正常に保存され、**[既存の接続]** パネルに表示されます。

2. Mandril 接続を作成するには、次の手順を実行します。

- a. > **Link > 接続の管理 > 新規作成** を選択する。
[新しい接続の作成] ページが表示されます。
- b. 次のフィールドに値を入力します。
- ・ **名前**-必須
 - ・ **説明**-オプション
- c. **[次]** をクリックします。
- d. **[接続の選択]** パネルから、**Mandrill** を選択します。
- e. **[接続プロパティ]** パネルで、次の必須フィールドに値を指定します。



Note: 入力するフィールドと値については、*Unica Link* マンドリル ユーザー ガイドを参照してください。 .

- ・ **API キー**
 - ・ **アクティビティのフェッチ頻度**
 - ・ **アクティビティ フェッチ ユニット**
- f. **[テスト]** をクリックして、接続をテストします。指定された値が正しい場合は、成功メッセージが表示されます。指定した値が正しくない場合は、エラー メッセージが表示されます。
- g. 接続を保存するには、**[保存]** をクリックします。
新しい接続が正常に保存され、**[既存の接続]** パネルに表示されます。

3. Salesforce 接続を作成するには、次の手順を実行します。

- a. > **Link > 接続の管理 > 新規作成** を選択する。
[新しい接続の作成] ページが表示されます。
- b. 次のフィールドに値を入力します。
- ・ **名前**-必須
 - ・ **説明**-オプション
- c. **[次]** をクリックします。
- d. **[接続の選択]** パネルから、**Salesforce** を選択します。
- e. **[接続プロパティ]** パネルで、次の必須フィールドに値を指定します。



Note: 入力するフィールドと値については、*Unica LinkSalesforce* ユーザー ガイドを参照してください。

- ・ インスタンス URL
- ・ アクセストークン
- ・ バージョン

f. **[テスト]** をクリックして、接続をテストします。指定された値が正しい場合は、成功メッセージが表示されます。指定した値が正しくない場合は、エラー メッセージが表示されます。

g. 接続を保存するには、**[保存]** をクリックします。
新しい接続が正常に保存され、**[既存の接続]** パネルに表示されます。

4. Twilio 接続を作成するには、次の手順を実行します。

a. > **Link** > **接続の管理** > **新規作成** を選択する。
[新しい接続の作成] ページが表示されます。

b. 次のフィールドに値を入力します。

- ・ **名前**-必須
- ・ **説明**-オプション

c. **[次]** をクリックします。

d. **[接続の選択]** パネルから、**[Twilio]** を選択します。

e. **[接続プロパティ]** パネルで、次の必須フィールドに値を指定します。



Note: 入力するフィールドと値については、*Unica LinkTwilio* ユーザー ガイドを参照してください。

- ・ ベース URL
- ・ アカウント SID
- ・ 認証トークン
- ・ 番号から
- ・ 再試行間隔
- ・ 再試行回数

f. **[テスト]** をクリックして、接続をテストします。指定された値が正しい場合は、成功メッセージが表示されます。指定した値が正しくない場合は、エラー メッセージが表示されます。

g. 接続を保存するには、**[保存]** をクリックします。
新しい接続が正常に保存され、**[既存の接続]** パネルに表示されます。

RESTの統合

REST ##### Journey#####
#####

新しい REST 統合の作成

REST

1. > **REST**を選択します。
RESTページが表示されます。
2. + **REST 統合**をクリックします。
新しい **REST 統合**ページが表示されます。
3. 次のフィールドに値を入力します。
 - **アプリ名**- 必須。
 - **説明**- オプション。
4. **[キーの生成]** をクリックします。
システムは**ClientID**と**ClientSecret**を生成します。
5. トグルバーを使用して、**[ステータス]**を [Active]または [非アクティブ] に変更します。デフォルトでは、**ステータス**はActiveです。
6. REST 統合を保存するには、**[保存]** をクリックします。
オーディエンス データを送信するにはJourney、REST エンドポイントの構成に使用される REST エントリソースに記載されている詳細に従います。手順 (4) を実行したときに受け取った**ClientID**と**ClientSecret**を使用して、エントリソースで REST エンドポイントを構成します。詳細については、[エントリソースの作成する \(on page 10\)](#)を参照してください。

REST 統合リストを表示します

Unica Journey##### REST #####

REST #####

1. > **REST**を選択します。
RESTページが表示されます。
2. 次の操作のいずれかを実行します。
 - a. [名前] フィールドで REST 統合のリストを昇順または降順で表示するには、**[名前]** をクリックします。
 - b. [説明] フィールドで REST 統合のリストを昇順または降順で表示するには、**[説明]** をクリックします。

既存の REST 統合の変更

REST

REST

1. **> REST**を選択します。
RESTページが表示されます。
2. 残りの統合を変更するには、次のいずれかを実行できます。
 - リストから必要な REST 統合を選択します
 - 選択する **>**
REST 統合の更新ページが表示されます。
3. 次のフィールドのみを更新できます。
 - **説明**
 - **ステータス**
4. 変更を保存するには、**[保存]** をクリックします。

REST 統合の削除

REST

REST ##### **REST ##### (on page 70)**##### .

REST

1. **> REST**を選択します。
RESTページが表示されます。
2. 次のいずれかの手順を実行します。
 - REST 統合を削除するには、**>** リスト内のREST統合を成功させます。
 - 複数の REST 統合を削除するには、リストで削除する REST 統合の前にあるチェックボックスを選択し、**[削除]** をクリックします。
3. 確認ボックスが表示されます。削除を続行するには、**[OK]** をクリックします。

デベロッパーツール

#####

APIドキュメント

#####Journey#RESTAPI#####

Chapter 10. 基本的な機能

#####

基本的な機能のリストは次のとおりです:

- 検索
- ヘルプ
- プロフィールの情報

検索

#####

検索機能には次のオプションがあります。

Table 7. 検索オプション

検索オプション	説明
フォルダ内を検索	アクティブなメニューの現在のフォルダーで、エントリソースパターンを検索します。 ##### #Files#####Files##### #### #####
ジャーニーで検索	エントリソースパターンに一致するジャーニーを検索します。
エントリソースで検索	エントリソースパターンに一致するエントリソースを検索します。
データ定義で検索	エントリソースパターンに一致するデータ定義を検索します。
すべてで検索	エントリソースパターンに一致するジャーニー、エントリソース、およびデータ定義を検索します。 ##### #####



Note: 検索オプションの順序は、アクティブなメニューによって異なります。

#

#####Mailer#####HolidayMailers#####

'HolidayMailers' フォルダー

で検索データ定義で検索 Journey で検索エントリ ソースで検索すべてで検索

ヘルプ

#####Journey#####

[###]#####Unica Journey#### #####doc.unica.com#####

プロフィールの情報

#####

Unica Journey##### [#####] #####

Chapter 11. 共通機能

フォルダー

#####

フォルダにアクセスするには、次の手順を実行します。

1. 次のいずれかのメニューを選択します。
 - ジャーニー
 - エントリーソース
 - データ定義
2. [フォルダ]をクリックします。フォルダパネルが表示されます。

フォルダに対して次の操作を実行できます。

Table 8. フォルダ操作

フォルダ操作	各種資料と情報源
フォルダーを作成します。	詳しくは、 フォルダーの作成 (on page 74) を参照してください。
フォルダを検索する	詳しくは、 フォルダを検索する (on page 75) を参照してください。
フォルダを編集する	詳しくは、 フォルダの編集 (on page 75) を参照してください。
フォルダを表示する	詳しくは、 フォルダを表示する (on page 75) を参照してください。
フォルダー内のアーティファクトを表示する	詳しくは、 フォルダー内のアーティファクトが表示されます (on page 76) を参照してください。
1つまたは複数のフォルダーを別のフォルダーに移動する	詳しくは、 1つまたは複数のフォルダーの移動します (on page 76) を参照してください。
1つまたは複数のフォルダーを削除する	詳細については、 1つまたは複数のフォルダーを削除する (on page 77) を参照してください。

フォルダーの作成

#####

1. フォルダをクリックします。
フォルダパネルが表示されます。
2. [すべてのフォルダ]を選択します。

3. **[+フォルダー]**をクリックします。
新しいフォルダが表示されます。
4. フォルダに関連する名前を入力し、をクリックします。

フォルダを検索する

#####

#####

1. **[フォルダ]**をクリックします。
フォルダパネルが表示されます。
2. [検索のフォルダーテキスト ボックス] に検索するフォルダーの名前を入力し、
入力したフォルダ名に一致するフォルダが表示されます。部分文字列を使用してフォルダを検索することもできます。

フォルダの編集

#####

#####

1. **[フォルダ]**をクリックします。
フォルダパネルが表示されます。
2. 必要なフォルダを検索するか、**[すべてのフォルダ]**を選択できます。必要なフォルダを検索するには、を参照してください。[フォルダを検索する \(on page 75\)](#)。
3. 必要なフォルダにカーソルを合わせて選択します。
4. フォルダ名を変更して選択します。

フォルダを表示する

#####

/ #####
#####

1. **[フォルダ]**をクリックします。
フォルダパネルが表示されます。
2. フォルダを表示するには、次のいずれかの手順を実行します。
 - a. 特定のフォルダを表示するには、**フォルダーの検索**機能を使用します。詳しくは、[フォルダを検索する \(on page 75\)](#)を参照してください。
 - b. すべてのフォルダを表示するには、**[すべてのフォルダ]**を選択します。
 - c. 頻繁にアクセスするフォルダを表示するには、**[よく使用する]**を選択します。

フォルダー内のアーティファクトが表示されます

#####

『[フォルダー \(on page 74\)](#)』を参照してください。

#####

1. **フォルダ**をクリックします。
フォルダパネルが表示されます。
2. フォルダの詳細をすばやく表示するには、次の手順を実行します。
 - a. フォルダが頻繁にアクセスされるフォルダである場合は、**よく使用する**を選択します。**すべてのフォルダ**を選択することもできます。
 - b. 必要なフォルダーにカーソルを合わせます。フォルダーの数と、そのフォルダー内の成果物の数を表示できます。
3. フォルダの詳細を表示するには、次の手順を実行します。
 - a. フォルダが頻繁にアクセスされるフォルダである場合は、**よく使用する**を選択します。**すべてのフォルダ**を選択することもできます。
 - b. 選択して、必要なフォルダーを開きます。
フォルダ(n)と**<アーティファクト>(n)**の2つのタブが表示されます。<アーティファクト>は、アクセスしているメニューに応じて、ジャーニー、エントリーソース、またはデータ定義のいずれかであり、(n)はそれを示す番号です。フォルダー内のアーティファクトの数。

#: 例1##### 例1.1#例1.2### 2 ##### 例1##### 3 ## ##### ####
例1.1##### 例1.2##### 2 ## ##### #####

例1##### ##(2)#####(3)# 2 #####

例1.1##### ##(0)#####(2)# 2 #####

例1.2##### ##(0)#####(2)# 2
4. アーティファクトのレポートを表示するには、次の手順を実行します。
 - a. フォルダが頻繁にアクセスされるフォルダである場合は、**よく使用する**を選択します。**すべてのフォルダ**を選択することもできます。
 - b. 選択して、必要なフォルダーを開きます。
 - c. **ビュー<アーティファクト名>**をクリックします。アーティファクト名は、ジャーニー、エントリーソース、またはデータ定義です。
リストは、それぞれのメニューページに表示されます。

1つまたは複数のフォルダーの移動します

(/)

1 #####

1. **[フォルダ]**をクリックします。
フォルダパネルが表示されます。
2. **[すべてのフォルダ]**を選択します。
3. 次のいずれかの方法でフォルダを移動できます。
 - a. 単一のフォルダを移動するには、必要なフォルダの上にカーソルを置いて、をクリックするか、必要なフォルダの前にあるチェックボックスを選択して**[フォルダに移動]**をクリックします。
 - b. 複数のフォルダを移動するには、必要なフォルダの前にあるチェックボックスを選択し、**[フォルダに移動]**をクリックします。
4. 必要な宛先フォルダを選択し、**[ここに移動]**をクリックします。

1 つまたは複数のフォルダーを削除する

1

#####

#####

#####

1. **[フォルダ]**をクリックします。
フォルダパネルが表示されます。
2. **[すべてのフォルダ]**を選択します。
3. 次のいずれかの方法でフォルダを削除できます。
 - a. 単一のフォルダを削除するには、必要なフォルダの上にカーソルを置いて、をクリックするか、必要なフォルダの前にあるチェックボックスを選択して、**[削除]**をクリックします。
 - b. 複数のフォルダを削除するには、必要なフォルダの前にあるチェックボックスを選択し、**[削除]**をクリックします。